CSRの取り組み



ブラザーグループは、ステークホルダーからの信頼を得られるよう、グループ一丸となってCSR活動に取り組んでいます。

INDEX

トップからのCSRメッセージ …… 1

ブラザーグループのCSR …… 2

ステークホルダーの皆さまから信頼されるために …… 3
ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則 …… 7
ブラザーグループのCSR課題 …… 11
CSRデータ …… 16

ステークホルダーの皆さまとともに …… 19

お客様とともに
お客様第一の製品開発 …… 20
期待に応える設計品質 …… 22
販売・サービス体制 …… 23

従業員とともに
多様な人材の確保 …… 25
多様な働き方の支援 …… 28
人材育成 …… 33
安全衛生・防災 …… 36
健康経営の推進 …… 39

ビジネスパートナーとともに
CSR調達の推進 …… 45

株主とともに
IRコミュニケーション …… 48
外部からの評価 …… 50

地域社会とともに
グローバルな社会貢献活動 …… 52
各地域での社会貢献活動 …… 57

報告の範囲：ブラザー工業株式会社および国内・海外グループ会社
対 象 期 間：活動報告（実績）［2018年4月1日～2019年3月31日］
参考にしたガイドライン：GRI「サステナビリティ・リポーティング・スタンダード」

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

トップからのCSRメッセージ

"At your side."の精神のもと「お客様と従業員の幸せ」を追求

ブラザーのCSR経営とグローバル憲章



ブラザーは、"At your side."の精神のもと「お客様と従業員の幸せ」を追求する経営を目指しています。これはグループ全ての従業員が一丸となって優れた価値を創造し迅速に提供することで、お客様に喜んでいただき、その喜びを全ての従業員が誇りに思うことで実現できると考えています。

「お客様と従業員の幸せ」を追求する経営の基盤となるのが、「ブラザーグループ グローバル憲章」(以下、グローバル憲章)に示された、事業の成長と社会的責任の遂行による、お客様を第一としたすべてのステークホルダーとの長期的な信頼関係の構築です。グローバル憲章におけるこの価値観の浸透をグループの全従業員に図っていくことで、ブラザーのCSR経営をこれからも進化させていきます。

お客様・社会の変化にモノ創りで応える

ブラザーは常に変革に向き合っています。変革し続けることは変化するお客様のニーズに対して常に「優れた価値」を創出していくための戦略であり、モノ創り企業であるブラザーグループの存在意義でもあります。

お客様や社会から要請される価値は変化しています。例えば、国連総会において2015年に採択された、2030年をゴールとする「持続可能な開発目標(SDGs)」は、持続可能な世界を実現するための17の目標を掲げており、企業に対しても行動が期待されています。また、多くのステークホルダーから、環境・社会・ガバナンス(ESG)を重要視した経営が求められています。

その中でブラザーは、数多くある社会課題の中から以下の項目に優先的に取り組み、事業を通じた社会価値の創出を実現すべきだと考えます。

・お客様が幸せを感じるイノベーションを、従業員が創造力を発揮し生み出すこと
・地球環境保全に継続的に取り組むこと
・社会貢献活動を継続的に推進すること
・社会要請に迅速に応えるため、ビジネスパートナーとの協働体制を強化すること

これらの課題に取り組むことは、ブラザーの未来永劫の繁栄のために必要なことです。そしてその実現のためには、お客様の声に加え、このような社会からの期待の変化をあらためて事業の成長機会、あるいは経営のリスクとして真摯に捉え、その解決に向かう必要があると考えます。

すべての従業員が"At your side."の精神で行動する

私は、短期と長期の両面を見据えてブラザーグループのCSR経営を進化させるため、そしてお客様や社会からの期待に応えるために、お客様や従業員をはじめとしたさまざまなステークホルダーとの対話をグローバルに広げるなど、先頭に立って行動します。また、ブラザーの良き企業風土である、"At your side."の精神で優れた価値を創造し迅速に提供する従業員の行動を、さらに促進していきます。

私たちブラザーグループは、未来に向かい、あらゆるステークホルダーからの信頼を積み重ねる努力のもとに経営を進化させ、「お客様と従業員の幸せ」を追求します。

2019年9月
ブラザー工業株式会社
代表取締役社長
佐々木 一郎

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

ブラザーグループのCSR



ブラザーは、"At your side."の精神のもと「お客様と従業員の幸せ」を追求する経営を目指しています。「お客様と従業員の幸せ」を追求する経営の基盤となるのが、「ブラザーグループ グローバル憲章」に示された、事業の成長と社会的責任の遂行による、お客様を第一としたすべてのステークホルダーとの長期的な信頼関係の構築です。グローバル憲章におけるこの価値観の浸透をグループの全従業員に図っていくことで、ブラザーのCSR経営をこれからも進化させていきます。

ステークホルダーの皆さまから信頼されるために

- お客様の声と、社会からの期待の変化を事業の成長機会として捉え、未来永劫の繁栄を目指します
- お客様の声と社会からの期待の変化に対応します

ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則

- 「ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則」の制定にあたって

ブラザーグループのCSR課題

- ステークホルダーとの長期的な信頼関係の構築
- 社会課題の解決に向けた取り組みの推進

CSRデータ

- 数字で見るブラザーグループのCSR

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

ブラザーグループのCSR

ステークホルダーの皆さまから信頼されるために

お客様の声と社会からの期待の変化を事業の成長機会として捉え、未来永劫の繁栄を目指します

事業を通じた社会価値をグローバルに創出するとともに、環境・社会・ガバナンス(ESG)を重要視した経営を推進

ブラザーグループは、すべての活動の礎である「ブラザーグループ　グローバル憲章」(以下、グローバル憲章)に示された、事業の成長と社会的責任の遂行により、お客様を第一としたすべてのステークホルダーとの長期的な信頼関係を構築してきました。

その中でブラザーは、国連総会において採択された「持続的な開発目標(SDGs)」に掲げられている17のゴールの達成に貢献するために下記の4つの項目に優先的に取り組み、事業を通じた社会価値をグローバルに創出するとともに、環境・社会・ガバナンス(ESG)を重要視した経営を推進します。

1. お客様が幸せを感じるイノベーションを、従業員が創造力を発揮し生み出す



グローバル憲章にある「未来永劫の繁栄」を実現するためには、ブラザーの事業が持続可能な社会の実現に役立つ必要があると考えます。そのためにブラザーは、さまざまなイノベーションを生み出し、社会課題を解決していきます。例えば既存の製品やサービスが社会課題解決にどのように役立つのか。加えてブラザーの技術を生かした、社会課題を解決することができる新たな事業をどのように創出するか。現在ブラザーではSDGsに取り組むNPO団体と協働するなどし、その方向性の検討を進めています。

2. 地球環境保全に継続的に取り組む



ブラザーグループは2018年4月、グローバル憲章の環境基本理念に基づき2050年度における長期ビジョン「ブラザーグループ　環境ビジョン2050」を策定しました。この環境ビジョンは、深刻化する環境問題(気候変動、資源の枯渇、廃棄物による環境汚染、生態系の破壊)を社会的な重要課題と認識し、グループの事業上のリスクとして捉え、長期的かつ継続的にその解決に取り組むことを明確にしたものです。「CO_2排出量削減」「資源循環」「生物多様性保全」の3つの項目に関して2050年度における長期ビジョンとともに2030年度における中期目標を定め、さまざまな活動を実施しています。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

ブラザーグループのCSR

ステークホルダーの皆さまから信頼されるために

お客様の声と社会からの期待の変化を事業の成長機会として捉え、未来永劫の繁栄を目指します

事業を通じた社会価値をグローバルに創出するとともに、環境・社会・ガバナンス(ESG)を重要視した経営を推進

3. 社会貢献活動を継続的に推進する



ブラザーグループはこれまでも各拠点が所在する地域に対する社会貢献を継続的に実施してきました。特に健康・福祉、教育支援、環境保全は毎年多くの活動が実施されています。今後もこういった各拠点の自律的な活動を促すとともに、ブラザーの持つ資源(製品・サービス・技術・人材など)を生かした社会貢献活動をさらに強化していきます。

4. 社会要請に迅速に応えるため、ビジネスパートナーとの協働体制を強化する



各生産拠点および部品・材料を調達する取引先における社会的責任への対応は重要な課題です。ブラザーグループでは、環境への配慮に加え、人権・労働、安全衛生、公正取引・倫理、品質・安全性、情報セキュリティー、社会貢献などの分野において課題解決に取り組むとともに、部品・材料を調達する取引先に対して「調達方針」「CSR調達基準」を開示し、順守を促しています。またこれらの活動のレベルアップのためにブラザーは、2019年2月、CSRの国際的推進団体であるRBAに加盟しました。RBAの示すフレームワークに沿った体系的な活動を進めることで、市場からの社会要請に応えていきます。

また上記4項目を実現するためには従業員の幸せ、健康、働きがいが欠かせません。ブラザーはグローバル憲章に基づき、従業員に対する多様性の重視、さまざまな能力を発揮できる職場環境とチャレンジングな仕事への機会の提供を実現し、グローバル人材の育成に力を入れるとともに、「ブラザーグループ健康経営理念」を制定し、従業員の健康の保持・増進にも戦略的に取り組んでいます。

このような活動を通じてブラザーはCSR経営を進化させ、ステークホルダーとの信頼関係をさらに強化し、未来永劫に繁栄し続けることを目指します。

また、事業を通じた社会価値の創出を通じて、ブラザーグループ独自のマネジメントシステム「ブラザー・バリュー・チェーン・マネジメント」をより強化し、中長期ビジョン「グローバルビジョン21」をさらに高い水準で実現させていきます。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

ブラザーグループのCSR

ステークホルダーの皆さまから信頼されるために

お客様の声と社会からの期待の変化に対応します

活動の礎「ブラザーグループ グローバル憲章」と「持続的な開発目標(SDGs)」

ブラザーが、事業を通じた社会価値をグローバルに創出するとともに、環境・社会・ガバナンス(ESG)を重要視した経営を推進するための、すべての活動の礎としているのはグローバル憲章です。
グローバル憲章には、「"At your side."の精神で、優れた価値を創造し、迅速に提供する」「あらゆる変革を恐れず、グローバルな視点で経営を行う」「最高度の倫理観を持って行動する」といったブラザーグループの根幹となる考え方が示されています。

ブラザーグループは、グローバルに3万人を超える従業員の一人一人が、グローバル憲章を日々の判断や行動で体現して、ステークホルダーの皆さまが求める価値を創造し迅速に提供することで、信頼される企業を目指しています。

グローバル憲章は、すべての従業員が常に意識できるよう、従業員の母国語である欧米やアジアの各言語に翻訳しており、携帯用のポケット版カード(25言語)とポスター(27言語)を各拠点に配布しています。



ポケット版カードとポスター

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

ブラザーグループのCSR

ステークホルダーの皆さまから信頼されるために

お客様の声と社会からの期待の変化に対応します

活動の礎「ブラザーグループ グローバル憲章」と「持続的な開発目標(SDGs)」

各拠点の経営層は毎年、グローバル憲章に基づくコミットメント(約束)を策定し、率先して行動に示すとともに、従業員への働きかけとして、メッセージの発信や対話する機会を作っています。2018年度は、経営層からのメッセージ発信64件、直接対話2,500回以上(前年比の約1.5倍以上)が行われました。

また、各拠点や部門ごとに責任者が任命した共有リーダーが、グローバル憲章に基づいて自身の行動を振り返る機会を作るなど、組織の役割や課題に即して従業員一人一人の行動を促進するさまざまな活動を行っています。

さらに、日本や中国、ベトナムでは、各組織の共有リーダーが一堂に集まる共有リーダー会を定期的に実施しています。共有リーダー会では、各組織で取り組んでいる共有活動の課題を話し合うほか、グローバル憲章に基づいた従業員の行動によって生産性が向上した事例やお客様のニーズに対応した事例をもとに話し合い、自拠点で展開するヒントを得るなど、開発・生産・販売など拠点や担当業務の枠を超えた学びの場にもなっています。



ベトナムで行われた共有リーダー会

2019年度からはグローバル憲章に加え、「持続的な開発目標(SDGs)」に対する経営層や従業員の意識の向上を図っています。経営層がイントラネットなどで、SDGs達成に向けたメッセージをグループ従業員に向けて発信するとともに、グローバル憲章を共有するにあたり構築してきた共有リーダー会などの仕組みを活用し、各拠点や部門にSDGsに対する意識向上活動を展開していきます。

ブラザーグループは、これからもステークホルダーの皆さまからの信頼を積み重ね、従業員にとって誇りの持てる企業の実現につながるよう、一人ひとりの行動のさらなる促進に取り組んでいきます。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

ブラザーグループのCSR

ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則

「ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則」の制定にあたって

ブラザーグループでは、グループがグローバルに展開するすべての活動の礎であり、グループ各社とグループ従業員の日々の意思決定と実行に対する「基本方針」と「行動規範」から成る「ブラザーグループ　グローバル憲章」を1999年に制定しました。「ブラザーグループ　グローバル憲章」では、お客様をはじめとするステークホルダーの皆さまに対するブラザーグループの責任を明確にし、グループ各社とグループ従業員が、それを実践することでCSR経営を推進して参りました。

一方で近年、持続可能な社会の実現のために、企業が社会のなかで果たすべき役割と責任はますます重要性が増し、ブラザーグループに対するステークホルダーの皆さまからの要請や期待もさらに高まってきております。

こうした変化に対応し、企業としての責任を明確に定義し行動していくために、「ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則」を制定しました。これは、グループ各社が負う責任と行動の根本的な考え方を表明するものです。

本原則に基づき、ブラザーグループが一丸となって、事業を展開する全ての国や地域で求められる社会的責任を果たし、グローバルに統一感あるCSR経営を、積極的に推進していきます。そして、「Brother」というコーポレートブランドが、全てのステークホルダーの皆さまから信頼されるブランドとなること、ブラザーグループが、従業員にとって誇りの持てる真のグローバル企業として、社会とともに未来永劫に繁栄し続けることを目指します。

2012年1月27日
ブラザー工業株式会社

ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則

A. 健全な労働環境

ブラザーグループは従業員に健全な労働環境を提供することの重要性を認識し、すべての人に対して信義と尊敬を持って接し、基本的人権を守ります。また従業員にも同様の行動を求めます。

1. 差別および非人道的扱いの禁止
   ブラザーグループでは、以下の差別および非人道的行為を禁じます。
   (1) 人種、年齢、性別、性的指向、妊娠、政治的信条、組合への加入、配偶者の有無、国籍、民族的背景、宗教、障がい等を理由にした違法な差別。
   (2) ハラスメントや嫌がらせ、体罰、精神的・肉体的強要、またはかかる対応を振りかざす行為によって人間の尊厳を傷つける行為。

2. 公正適法な労働慣行の維持
   ブラザーグループは、労働時間、休暇、賃金、手当(最低賃金を含む)、残業等の労働条件について定めた現地の法令、管轄官庁の指導、または適切な現地の業界慣行に従うよう努めます。

3. 結社の自由
   ブラザーグループは、活動する国や地域において法令によって従業員に認められる、結社の自由、労働組合に加入する権利、代表を要求する権利および労働者協議会に加入する権利を尊重します。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

ブラザーグループのCSR

ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則

「ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則」の制定にあたって

A. 健全な労働環境

4. 差強制労働及び児童労働の禁止

ブラザーグループは、以下のような、本人の自主的な意思に反し労働を強制したり、児童を雇用したりすることを許容しません。

(1) 強制労働または意志に反する囚人労働を利用すること。

(2) 雇用の条件として公的に発行された身分証明書または労働許可証の引渡しを義務づけること。(身分確認や公官庁での手続きのために一時的に提出を求めることは除く)

(3) 15歳未満の者(または当該国の法律が14歳の就労を認めている場合は14歳未満の者)および現地の法律が定める義務教育修了年に満たない者を雇用すること。

(4) 18歳未満の従業員が健康と安全を危険にさらす業務を遂行すること。

5. 懲戒方針の明示

ブラザーグループは、懲戒方針を設ける場合は、その手続きと共に社内規程に明記し、従業員に周知します。

6. 内部通報

従業員が、本原則、各社の行動基準、その他の社内方針、現地の法令への違反行為を見聞きした場合は、その旨をブラザーグループ内のしかるべき立場の者まで通報することを勧めています。本原則、社内方針、適用される法令に対する違反行為が適正に通報された場合、ブラザーグループは、必要に応じ、かつ現地の法律で認められる限り、通報者の匿名性を守ります。また違反行為を通報した者に対し、従業員が報復的な措置を取ることを禁じます。

B. 職場の安全衛生

1. 職場の安全

ブラザーグループは、関係法令に従い、安全で衛生的な職場環境を整備します。またブラザーグループは、職場における従業員の健康と安全を守るために、以下の措置を講じます。

(1) 肉体を酷使する作業、電気その他のエネルギー源、火災、車両、化学物質や生物的・物理的因子への曝露などの潜在的な危険を査定し、適切に管理する。

(2) 安全対策を施し適切に設計された職場を維持管理するとともに、必要な安全用具を常備する。

(3) 安全作業手順・制度を実施する。また従業員教育を継続するとともに、労働災害・労働疾病の予防、管理、追跡、報告のための制度を設ける。

(4) 避難訓練や復旧計画など、緊急事態および事故の発生を想定した対策ならびに対応手順を導入する。

2. 衛生的な設備

ブラザーグループは、従業員およびブラザー社内で働く第三者のために、清潔なトイレおよび給水設備を整備します。
また調理・飲食施設がある職場では、かかる施設を衛生的に保ちます。
寮がある場合は、十分な維持管理を行い、清潔・安全に保ちます。また適切な非常口を設けるとともに、シャワー用の設備、適切な温度および換気設備、個人スペースを提供します。なお、以上についてはいずれも各国や地域の基準に準ずるものとします。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

ブラザーグループのCSR

ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則

「ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則」の制定にあたって

C. 地球環境の保全

ブラザーグループは、ブラザーグループ環境方針を定め地球環境の保全に努めます。具体的には、持続的発展が可能な社会の構築に向け、設計から開発、生産、使用、廃棄、再利用、再生に至る製品ライフサイクルの各段階を含む企業活動のあらゆる面で、必要とされる環境上の許可証、認可を取得するとともに、製品に含まれる物質の規制など国内外で適用されるすべての環境関連法令を順守します。さらに、汚染防止策や省資源化に努めます。

D. 倫理的誠実な事業活動

ブラザーグループは、企業活動のあらゆる面において、最高度の倫理観を持ち、最大限の誠意を尽くして行動します。

1. 公正な取引
   ブラザーグループは、活動を行う国や地域において適用される公正な取引や市場競争に関する法令を順守し、市場での公正かつ自由な競争を阻害するような行為は行いません。また物品やサービスの調達に当たっても調達先の選定や取引条件の決定を公正に行います。
2. 適正広告
   ブラザーグループは、関係する適正広告基準を守ります。誤解を招くような内容や、事実と異なる内容の広告を行わないよう努めます。
3. 不正便宜の禁止
   ブラザーグループは、形式の如何を問わず、汚職、強要、横領に一切かかわりません。また賄賂はじめ過剰または不適切な便宜を供与したり、受けたりしません。
4. 偽りのない正しい企業情報の記録及び開示
   ブラザーグループは、財務関係記録を始めとする全ての必要な記録および報告を正確かつ適時に作成し、保管します。また、ブラザーグループは、関係法令に従い、株主、投資家および資本市場が十分な情報を得た上で投資判断を下すことができるように、財務状況ならびに事業情報を正確かつタイムリーに開示します。
   さらに、ブラザーグループは、従業員が、新聞、雑誌、ラジオ、テレビ、インターネットメディア等に一個人として情報を発信する場合に、それがブラザーグループの公式見解と誤認されることがないよう、従業員に適切な行動を求めます。
5. 情報管理
   ブラザーグループは、厳格な情報管理制度を運用し、従業員が、ブラザーグループ各社、その他の組織、またはお客様に関する機密情報を、本人の承諾を得ずして、不法に第三者に開示することがないようにします。
6. 個人情報保護
   ブラザーグループは、お客様、お取引先、および従業員のプライバシーを尊重し、現地のプライバシー関連法に応じて、個人情報へのアクセスの制限や、セキュリティー対策を講じます。またブラザーグループは、お客様や従業員の名簿を含む個人情報を安全に管理するとともに、現地の個人情報保護法および自社のプライバシー保護方針の下で認められた場合を除き、または別途許可を受けた場合を除き、個人情報を入手しません。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則

「ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則」の制定にあたって

D. 倫理的誠実な事業活動

7. インサイダー取引の禁止

ブラザーグループは、従業員に違法なインサイダー取引にかかわらないことを求め、インサイダー取引を予防する措置を講じます。違法なインサイダー取引とは、一般的に、ある株や証券についての重大な事実を知る者が、その事実が公表される前に当該株や証券を売買する行為を指します。

8. 知的所有権の保護

ブラザーグループは、ブラザーグループの知的所有権(特許権、商標権、著作権を含みますが、これだけには限定されません)の確保、維持、充実に努めます。また第三者の知的所有権を尊重します。ブラザーグループは、故意に他者の知的所有権を侵害しません。

E. 本原則実践のための社内体制

ブラザーグループは、本原則を実践するために、以下の各号を目的とする体制を整備します。

(1) ブラザーグループ各社にて、本原則で定める水準を満たす各社の行動基準及び社内規程等を制定し、従業員にその順守を求める。
(2) 本原則および各社の行動基準の運用はブラザーグループ各社の組織に応じ責任部門を明確にする。
(3) 従業員が各社の行動基準を順守するための教育を継続的に行う。
(4) 本原則および各社の行動基準が順守されていることを確認するために定期的に監査を行う。
(5) 監査の結果、問題が発見された場合は、適時その解決をはかる。

ブラザー工業株式会社の法務担当執行役員は、ブラザーグループ各社における上記体制の実施状況を確認し、統括するとともに、社内体制のあり方を適宜に見直すものとします。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

ブラザーグループのCSR

ブラザーグループのCSR課題

ステークホルダーとの長期的な信頼関係の構築

ブラザーは、"At your side."の精神のもと「お客様と従業員の幸せ」を追求する経営を目指しています。その基盤となるのが、「ブラザーグループ グローバル憲章」に示された、事業の成長と社会的責任の遂行による、お客様を第一としたすべてのステークホルダーとの長期的な信頼関係の構築です。グループの全従業員が、この価値観に基づき行動することで、ブラザーのCSR経営をこれからも進化させていきます。

それぞれのステークホルダーと長期的な信頼関係を構築するための取り組み

ステークホルダー	ブラザーグループ グローバル憲章	取り組み
お客様	・あらゆる場面でお客様第一を考え、モノ創りを通じて優れた価値を創造し、迅速に提供する ・グローバルな市場から求められる多様な要請や期待にすばやく応える	・「お客様の声」を事業活動の起点とし、ニーズにあった製品・サービスを提供 ・製品の品質基準と評価方法を構築しお客様が安心して使い続けることができる製品づくりを推進 ・お客様から返品または修理のために戻ってくる製品の割合を「お客様ご迷惑率」と呼び、不具合発生を限りなくゼロに近づけるため、品質向上活動を継続 ・多様化するツールや市場、お客様の行動の変化にパートナーと適切に連携しながら柔軟に対応
従業員	・従業員の多様性を重視し、さまざまな能力を発揮できる職場環境とチャレンジングな仕事への機会を提供する ・努力と成果に対して、公正な評価と正当な報酬で応える	・多様な人材が能力を発揮できる制度・環境を整備 ・障がいを持つ従業員から相談を受けるなどの役割を担う、「障害者職業生活相談員」を各工場の従業員から選任するなど、サポート体制を構築 ・在宅勤務や介護休職などワークライフバランスを支える各種制度を整備 ・公正な評価と処遇を目指した目標管理制度 ・マネジメント層を育成する研修や、トレーニー制度など人材育成制度を構築
ビジネスパートナー	・常に公平・公正な取引を行い、相互信頼関係を築いて成長し合う	・お取引先の皆さまにブラザーグループのCSR調達の考え方を共有するため、「調達方針」と「CSR調達基準」を公開 ・お取引先にCSRアンケートを実施し、その結果に基づいて改善要請や現場確認を実施 ・お取引先の優秀なCSR活動を表彰

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

ブラザーグループのCSR

ブラザーグループのCSR課題

ステークホルダーとの長期的な信頼関係の構築

それぞれのステークホルダーと長期的な信頼関係を構築するための取り組み

ステークホルダー	ブラザーグループ グローバル憲章	取り組み
株主	・株主からもたらされた資本を活かし、継続して企業価値を高めるとともに、積極的な情報公開を行う	・株主総会や決算説明会などで株主・投資家の皆さまへ最新の情報を提供 ・ブラザー製品の魅力や環境への取り組みを紹介する個人株主の皆さま向けのイベントを開催
地域社会	・地域社会に対する社会的・経済的・文化的責任を可能な限り分担する	・地球環境への配慮に関連した活動」「『地域』『人づくり(従業員を含む)』を意識した活動」を中心にグローバルに一体感を持った社会貢献活動を推進 ・各地域の状況に合わせて各拠点が自律的に行う社会貢献活動 ・大規模災害への支援
環境	・持続的な発展が可能な社会の構築に向け、企業活動のあらゆる場面で地球環境への配慮に前向きで継続的な取り組みを行う	・環境配慮製品の創出 ・消耗品・製品の回収リサイクル ・CO_2排出量・廃棄物削減の推進 ・化学物質や排水の適正管理 ・環境コミュニケーションの実施
ガバナンス	・活動する国や地域における関連法規、規制を遵守し、文化を尊重する ・最高度の倫理観を持って行動する ・従業員に、社会の模範となる行動を求める	・「コーポレートガバナンス基本方針」に沿ったガバナンス体制の構築と強化 ・内部統制の有効性を確認する拠点ごとの自己チェックと、内部監査部門の監査の実施 ・コンプライアンス委員会や相談窓口を設置、従業員教育を行い不祥事の未然防止や早期対応、再発防止を推進 ・情報セキュリティーマネジメントシステム(ISMS)に準拠した「グループ情報管理規程」を定め情報管理体制を構築

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

ブラザーグループのCSR課題

社会課題の解決に向けた取り組みの推進

国連総会において2015年に採択された、2030年をゴールとする「持続可能な開発目標(SDGs)」は、持続可能な世界を実現するための17の目標を掲げており、企業に対しても行動が期待されています。

ブラザーグループは、数多くある社会課題の中から以下の項目に優先的に取り組みます。

・お客様が幸せを感じるイノベーションを、従業員が創造力を発揮し生み出すこと
・地球環境保全に継続的に取り組むこと
・社会貢献活動を継続的に推進すること
・社会要請に迅速に応えるため、ビジネスパートナーとの協働体制を強化すること

ブラザーグループの優先項目に関連するSDGsの目標とその取り組み例

優先項目	お客様の幸せに貢献するイノベーションを、創造力を発揮し生み出す	
目標3	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	
	取り組み例	・人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進できる製品、サービスの提供
目標8	すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(人間らしい雇用)を推進する	
	取り組み例	・お客様の生産性向上や単純作業軽減につながる製品・サービスの提供 ・障がい者の雇用や医療・福祉分野に貢献できる製品・サービスの提供
目標9	レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を促進するとともに、イノベーションの拡大を図る	
	取り組み例	・社会課題の解決につながる新規事業の創出

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

ブラザーグループのCSR課題

社会課題の解決に向けた取り組みの推進

ブラザーグループの優先項目に関連するSDGsの目標とその取り組み例

優先項目	地球環境保全に継続的に取り組む	
目標7	すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	
	取り組み例	・電力や熱をCO_2フリーで創出、貯蔵、活用するエコシステムを支える製品やサービスの提供
目標12	持続可能な消費と生産のパターンを確保する	
	取り組み例	・バリューチェーンにおける資源循環の推進 ・事業所の水リスク評価および節水・循環利用の推進
目標13	気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る	
	取り組み例	・省エネ活動(創エネ含む)の実施、温室効果ガスを含む潤滑剤削減 ・環境配慮設計の強化
目標15	陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る	
	取り組み例	・事業活動による生物多様性への負荷特定 ・生物多様性の配慮の仕組み構築 ・生態系の修復・保全活動の推進

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

ブラザーグループのCSR課題

社会課題の解決に向けた取り組みの推進

ブラザーグループの優先項目に関連するSDGsの目標とその取り組み例

優先項目	社会貢献活動を継続的に推進する	
目標3	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	
	取り組み例	・ゴールデンリングプロジェクトを始めとするがん患者などの支援
目標4	すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	
	取り組み例	・地域への教育支援活動のさらなる推進 ・障がい者への教育サポート
目標11	都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする	
	取り組み例	・各地域における災害復興支援

優先項目	社会要請に迅速に応えるため、ビジネスパートナーとの協働体制を強化すること	
目標8	すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する	
	取り組み例	・RBA*のノウハウを生かしたサプライチェーンにおけるCSRの強化 *: CSRの国際的推進団体であるResponsible Business Allianceの略。
目標12	持続可能な消費と生産のパターンを確保する	
	取り組み例	・各国・地域の法規制遵守などグループ全体での化学物質保障体制の強化

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

CSRデータ

数字で見るブラザーグループのCSR

ブラザーグループのCSRに関連する主な数字を、一覧表にまとめました。

ブラザーグループ グローバル憲章

ブラザーグループ グローバル憲章	1999年制定
翻訳言語	27言語
経営層と従業員の対話*	2,500回以上

*: 2018年度

その他の情報は「ステークホルダーの皆さまから信頼されるために」
https://global.brother/ja/csr/brothergroup/management

コーポレートガバナンス

取締役*	11名(うち社外取締役5名)
監査役*	5名(うち社外監査役3名)
役員*	32名(うち女性2名)
ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則	2012年制定
グローバル内部監査会議	2010年開始
グループ情報管理規程	2015年制定(ブラザー工業は2008年)

*: 2019年6月24日現在

その他の情報は「コーポレートガバナンス」
https://global.brother/ja/corporate/governance

お客様

生産拠点や販売・サービス拠点		40以上の国と地域
製品安全に関する基本方針		2008年制定
売上収益*		連結 683,972百万円
地域別売上収益構成比*	日本	18.2%
	米州	30.5%
	欧州	26.4%
	アジア他	24.9%

*: 2018年度

その他の情報は「お客様とともに」
https://global.brother/ja/csr/stakeholder/customer/development

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

CSRデータ

数字で見るブラザーグループのCSR

従業員(ブラザー工業株式会社)

従業員数*1	連結 37,769名 / 単独 3,865名
障がい者雇用率*2	2.18%
女性管理職比率*1	3.99%(34名)
育児休職制度の利用者*3	72名(うち男性は35名)
介護休職制度の利用者*3	5名(うち男性は1名)
育児のための短時間勤務者*2	177名(うち男性は9名)
介護のための短時間勤務者*2	3名(うち男性は0名)
看護休暇の利用者*2	33名(うち男性は7名)
在宅勤務制度の利用者*3	78名(うち男性は7名)
ブラザーグループ健康経営理念	2016年制定
生産拠点労働災害件数*2	20件
生産拠点労働災害千人率	0.77
グローバル安全防災大会	2008年開始

*1: 2019年3月31日現在
*2: 2018年度
*3: 2018年度の取得開始者数

その他の情報は「従業員とともに」
https://global.brother/ja/csr/stakeholder/employee/secure

ビジネスパートナー

調達方針とCSR調達基準	2008年制定
グリーン調達	2001年開始
方針説明会*	各会場合計460社、約900名の参加
CSRアンケート	2012年開始(3年ごとに実施)

*: 2019年度

その他の情報は「ビジネスパートナーとともに」
https://global.brother/ja/csr/stakeholder/partner/csr

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

CSRデータ

数字で見るブラザーグループのCSR

株主*1

決算説明会	年4回
株主通信	年2回発行(通期号は招集ご通知と合冊)
個人投資家向けイベント*2	計3回
SNAMサステナビリティ・インデックス	2012年から8年連続で選定
健康経営銘柄	2017年、2019年選定
健康経営優良法人	2017年から3年連続認定

*1: 決算情報は株主/投資家情報「決算短信・決算説明会資料」をご覧ください。
https://global.brother/ja/investor/financial-info

*2: 2018年度

その他の情報は「株主とともに」
https://global.brother/ja/csr/stakeholder/shareholder/investor

地域社会

東海若手起業塾	2008年協賛開始(ブラザー工業)
ゴールデンリングプロジェクトへの従業員参加*	20拠点

*: 2018年度

その他の情報は「地域社会とともに」
https://global.brother/ja/csr/stakeholder/society/global

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

ステークホルダーの皆さまとともに



ブラザーグループは、従業員の自律的な行動で、あらゆるステークホルダーから信頼される活動を一つ一つ積み重ねていきます。

お客様とともに

- お客様第一の製品開発
- 期待に応える設計品質
- 販売・サービス体制

従業員とともに

- 多様な人材の確保
- 多様な働き方の支援
- 人材育成
- 安全衛生・防災
- 健康経営の推進

ビジネスパートナーとともに

- CSR調達の推進

株主とともに

- IRコミュニケーション
- 外部からの評価

地域社会とともに

- グローバルな社会貢献活動
- 各地域での社会貢献活動

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

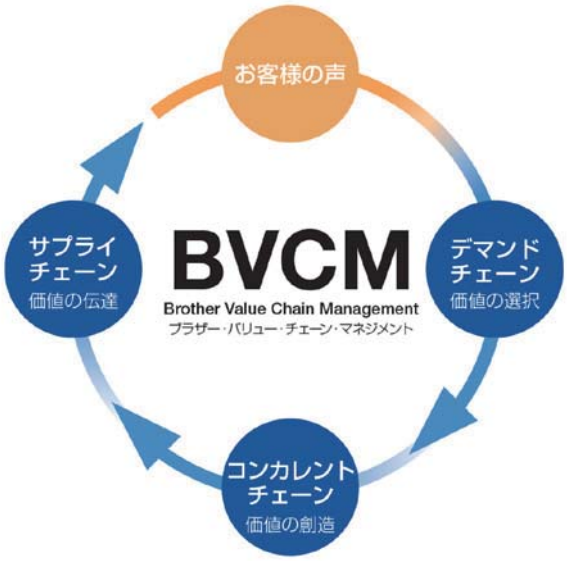
お客様とともに

お客様第一の製品開発

「お客様の声」を事業活動の起点とし、ニーズに合った製品・サービスを提供

各部門が情報共有しながらお客様のご要望を迅速にカタチにする

ブラザーグループは、独自のマネジメントシステム「ブラザー・バリュー・チェーン・マネジメント」(以下、BVCM)を実施し、"At your side."の精神で、より優れた製品・サービスをお届けしています。



お客様の声にお応えするための独自のマネジメントシステム

BVCMの中の「コンカレントチェーン」では、デマンドチェーンでまとめられた製品コンセプトを具体的なカタチにします。試作の前後にシミュレーションや想定されるお客様によるモニター試験を何度も行い、高い品質レベルを実現しながら、迅速に開発設計を行います。

また、生産技術担当部門では、お客様が望むタイミングで製品を提供できるように最適な生産ラインを設計します。

各部門が情報共有しながら同時進行で製品化に向けて取り組むことにより、お客様のご要望を迅速にカタチにすることが可能となります。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

お客様とともに

お客様第一の製品開発

お客様のご要望に応える製品開発

お客様の声を聞き、製品が使用される現場を知って、お客様の求める製品を開発

用紙幅4インチのラベルやレシートに印刷できる感熱モバイルプリンターを使用するアメリカのお客様は、車内に設置したりベルトに装着したりして、配送先や物流倉庫などの現場で納品書や配送ラベルを印刷します。そのため、モバイルプリンターに対して、場所を選ばずどこでも情報端末とつながりやすいことや、トラックなどの車両の乗降や荷物を運ぶ際に加わる強い衝撃や負荷に耐える頑丈さを要望されます。

これらのご要望を達成するために企画担当者やメカ・ソフト開発者などが創意工夫を重ねるとともに、さらに優れた製品の提供に向け、完成品に近い試作機を持って、アメリカのお客様を訪問することを決めました。

訪問先では、企画・開発・品質管理の担当者がそれぞれの視点でヒアリングや使用状況の調査を行い多面的な情報を得ることができました。また、試作機を実際に操作いただくことで、自分たちでは気づけなかった、現場で実際に使用しているユーザーならではの操作方法や、お客様の抱える課題に気づくことができました。



お客様へのヒアリング


訪問先で配送トラック乗降時の装着性を確認

製品開発期間のぎりぎりまで、現場から学びお客様のご要望を聞くことで、用紙を片手でセットできるといった操作性の向上や、複数台のモバイルプリンターを管理するためのラベルを貼るスペースを作るなど、カタログのスペックには表れない細部まで配慮した新たな価値を、製品に反映することができました。

ブラザーグループは、これからもお客様の声をお聞きし、製品が使われる現場を知って、お客様に価値を提供していきます。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

お客様とともに

期待に応える設計品質

お客様に評価され選ばれる製品をご提供するために

お客様視点を製品の隅々にまで反映する

ブラザーグループでは、固有の技術を生かしてお客様の求める製品・サービスを生み出すことが真の技術力であると考えています。それは優れた技術は製品の設計に生かされてこそ価値が生まれると考えるためです。品質管理部門では、お客様の期待の変化など市場から得られるさまざまな情報から製品の品質基準と評価方法を常に精査しており、オフィスや工場、家庭などでブラザー製品を使用される幅広いお客様のニーズにお応えしています。

ブラザーグループは、お客様に評価され選ばれる製品を提供するために、お客様と向き合いお客様の声に真摯に耳を傾けて、どんな製品でお客様の役に立つことができるかを常に考えながら価値創造に取り組んでいます。

お客様の期待に応える製品を創出

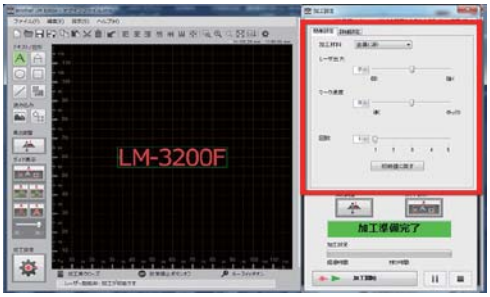
使用時の操作を簡単にし、お客様の生産性向上に貢献

製造業などのお客様が、自社製品にシリアル番号や口ゴマークを印字するときなどに使用されるレーザーマーカー。市場にある多くのレーザーマーカーは印字する際、文字や図のデータを制作するほか、素材の硬さや耐熱性を考慮してレーザー出力や周波数などの細かな条件設定が必要で、お客様からは知識や経験がなくても簡単に印字できるモノが欲しいという要望がありました。

こうしたご要望にお応えするためブラザーは、レーザーマーカー付属のアプリケーションに、素材を選択しレーザー出力や速度をスライドバーで感覚的に調整すれば印字が始められる「簡単設定」機能を搭載しました。この「簡単設定」機能を使用することで、印字準備から完了までの時間を短縮できるなど、お客様の生産性向上に貢献しています。

また、限られたスペースの生産ラインにも設置しやすい形状にするため、レーザーが出力するヘッドに固定されているファイバーユニットを取り外せる構造にしました。 再度取りつけたときに、レーザー光線のずれが発生しないように、レーザーの光軸がファイバーユニット側で設定されるよう機構を見直してレーザーの調整作業を不要にしました。これにより、事業の拡大・変動に伴う生産ラインの増設や組み換えといった、お客様の変化にも対応しやすくなりました。

ブラザーグループは、これからもお客様の期待に応えお客様の役に立つことができる製品を生み出すために、価値創造に取り組んでいきます。



素材を選択して条件設定ができる「簡単設定」(赤枠)


レーザーヘッド(左)から取り外せるファイバーユニット(右)

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

お客様とともに

販売・サービス体制

お客様の声に耳を傾けることで生まれる対応力と連携

事業環境にあわせ、自ら変化できる企業であり続ける

多様化するツールや市場、お客様の行動の変化など、事業環境はめまぐるしく変化しています。これに対応していく上で大切なのが「柔軟な対応力」と「パートナーとの連携」だと考えています。

お客様の声に耳を傾け、これまで培ってきた技術や知見、販売ルートやノウハウを生かしつつ、足りない部分や経験の浅い分野には、パートナーと適切に連携しながら柔軟に対応していきます。

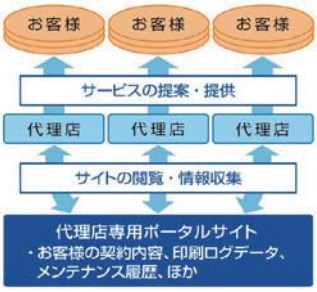
そうすることで自ら変化できる企業であり続けたいとブラザーは考えています。

お客様へのさらなる価値提供のため代理店と連携

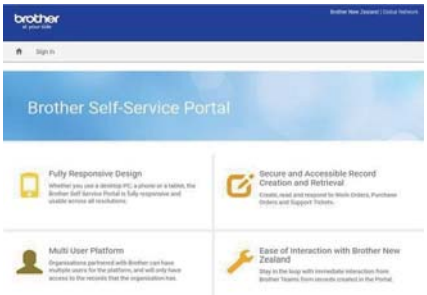
代理店専用のポータルサイトを作りサービス向上と業務効率化を実現

ブラザーインターナショナル(ニュージーランド)Ltd.(以下、BINZ)は、多くの代理店と連携して法人のお客様にオフィスの印刷環境をより良くするための提案やお客様ごとに適切なタイミングでプリンターのメンテナンスや消耗品の補給を行うサービスを行っています。

BINZは、代理店の皆さまにお客様への価値提供をより効率的に行っていただけるよう、代理店が新しいお客様に印刷環境を改善する提案を行ったり、現在契約中のお客様にさらなる価値を提供したりするのに必要な情報やサービスを集約した代理店専用のポータルサイトを作りました。



お客様への価値提供のプロセス



代理店専用ポータルサイトのトップページ

ポータルサイトには、お客様のビジネス形態ごとのサービスモデルや契約書が速やかに作成できるコンテンツとともに、お客様の契約内容や印刷ログデータ、メンテナンス履歴などの情報が保管されています。代理店はサイトを活用して、お客様の印刷環境を改善する提案を行うなどサービスの向上を図ると同時に契約書を誤りなく速やかに発行したり、自動で請求書を発行したりするなど、業務効率も向上させています。

このサイトを利用する代理店からは「さまざまな情報を速やかに得ることができ、お客様に提案やサービスを行うときに、とても役に立っています」といった評価を得ています。

ブラザーグループは、これからもビジネスパートナーと連携し、お客様に優れた価値を迅速に提供していきます。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

お客様とともに

販売・サービス体制



欧州でPRアカデミーを開催

各拠点の広報活動の共有や意見交換を通じて連携を強化

欧州の販売拠点は、お客様に価値ある情報を提供するため、各拠点が連携して広報活動を展開しています。欧州の統括会社であるブラザーインターナショナル(ヨーロッパ)Ltd.　(以下、BIE)は、ブラザーが提供する製品やサービスが「どのようにお客様のお役に立てるのか」、「どのようにお客様の困りごとを解決できるのか」といった情報を、各拠点がソーシャルメディアで発信できるよう、画像など、さまざまな素材を提供しています。各拠点ではそれらを活用するとともに、その国の文化や慣習に合わせた独自の広報活動も行っています。

2008年からは、さらなる連携強化と情報発信の質向上を目的に、広報勉強会「PRアカデミー」を開催しています。2018年はイギリスで行われ、ブラザーU.K. Ltd.やブラザーフランスSAS、グループ本社であるブラザー工業株式会社などから約30名の広報担当者が集まりました。

3日間の日程で開催され、各拠点からの活動報告と、SNSの活用法や有事の際のマスコミ対応方法を学ぶ研修が行われました。また、BIEに対する要望など、意見交換の時間も設けられました。



自拠点の広報活動を報告



意見交換する参加者

参加者からは、「各販売拠点が行っている広報活動について知り、学ぶことができる貴重な機会でした。ワークショップ型の研修に一緒に取り組んだことで、広報担当者同士の連携も強化できました」といったコメントがありました。

ブラザーグループは、これからもお客様に価値ある情報を速やかに提供するため、グローバルに連携していきます。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

従業員とともに

多様な人材の確保



雇用・処遇に関する基本方針

多様な人材が能力を発揮できる制度・環境を整備

ブラザーグループは、40以上の国と地域に生産拠点や販売・サービス拠点を設け、世界中のお客様に製品やサービスをお届けしており、人種・言語・文化・習慣など、事業を取り巻く環境がさまざまに異なる中で、全従業員がグローバルチームブラザーの一員として、日々活躍しています。

その基盤となるのが「ブラザーグループ　グローバル憲章」(以下、グローバル憲章)の「基本方針」に掲げた「従業員の多様性を重視し、さまざまな能力を発揮できる職場環境とチャレンジングな仕事への機会を提供する。そして、努力と成果に対しては、公正な評価と正当な報酬で応える」という考え方です。また、グローバル憲章の行動規範では「常に一人ひとりの人格、多様性を尊重し、信義と尊敬を持って行動する」ことを定めています。ブラザーグループ各社は、これらの考え方に基づいて、採用・評価・昇進などにおいて、民族・国籍・宗教・思想・性差・学歴・年齢・障がいの有無など、あらゆる差別を排除することを目指し、また、児童労働や強制労働を禁止しています。今後も経営層と従業員が一体となって、関連法規、規則の順守はもちろん、各自の文化や慣習を尊重し、グローバル憲章に基づいた人事制度の進化、職場環境の継続的な改善に取り組んでいきます。

公正な評価と処遇を目指した目標管理制度

ブラザーグループは、意欲・能力・成果を公平・公正に評価して処遇に反映するための体制を構築しています。例えばブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)では、一般従業員については、明確な評価基準に基づく目標管理制度のもと、納得性の高い評価を実施しています。評価の結果は被評価者に公開し、その後の面談においてその評価理由を伝えています。こうすることで、従業員が自らの仕事を振り返り、新たな目標に向かって成長していくためのモチベーションも高まるため、人材育成にもつながっています。管理職に関しては、年俸制を採用しています。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

従業員とともに

多様な人材の確保



多様な人材を確保するために

女性管理職の登用を推進

女性管理職については、各国・各地域で、女性の社会進出の歴史、生活文化、主な職種などが異なるため、全管理職者数に対する比率に差はあるものの、多くの拠点で女性が活躍しています。

ブラザーグループの女性管理職者数と比率

社名[国]	2018年3月		2019年3月	
	数	比率	数	比率
ブラザー工業株式会社[日本]	31名	3.7%	34名	4.0%
ブラザー販売株式会社[日本]	2名	2.3%	2名	2.2%
兄弟高科技(深圳)有限公司[中国]	43名	33.3%	42名	32.8%
珠海兄弟工業有限公司[中国]	19名	61.3%	20名	57.1%
兄弟機械(西安)有限公司[中国]	4名	12.9%	4名	22.8%
ブラザーインターナショナルコーポレーション(U.S.A.)[アメリカ]	76名	40.2%	90名	38.8%
ブラザーインターナショナル(ヨーロッパ)Ltd.[イギリス]	8名	16.0%	7名	15.2%
ブラザーU.K. Ltd.[イギリス]	15名	37.5%	14名	33.3%
兄弟(中国)商業有限公司[中国]	7名	25.0%	8名	25.8%
ブラザーインターナショナル(ドイツ)GmbH[ドイツ]	5名	15.6%	7名	21.2%
ブラザーフランスSAS[フランス]	12名	37.5%	11名	34.4%
ブラザーインダストリーズ(ベトナム)Ltd.[ベトナム]	37名	34.6%	45名	35.4%

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

従業員とともに

多様な人材の確保

多様な人材を確保するために

女性管理職の登用を推進

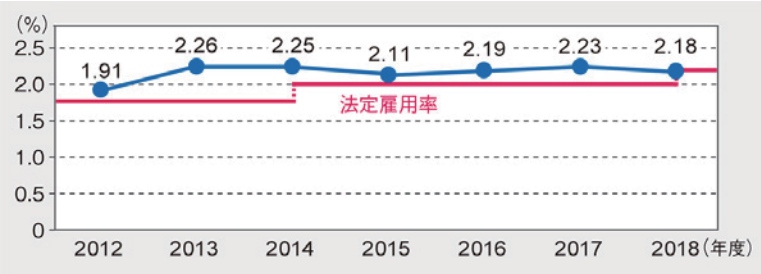
女性管理職比率の推移(ブラザー工業株式会社)



障がい者の雇用推進と活躍支援

ブラザー工業では、障がいを持つ従業員も、それぞれの適性・能力に合った職種・職場で活躍しています。
日本では、一定規模以上の企業に対して、総従業員数の一定割合以上の障がい者を雇用することが法律で定められています。2018年度の雇用率は2.18%と法定雇用率の2.2%を下回っており、障がい者の採用と職場での活躍支援の両面から継続的に取り組んでいきます。

障がい者雇用率の推移(ブラザー工業株式会社)



ブラザー工業は、グローバル憲章の「行動規範」にある「個人に対する信義と尊敬」に基づき、障がいの有無に関わらず、従業員同士が理解を深め、連携を強化して個々の能力を最大限に発揮できる職場環境をつくっていく方針を引き続き展開しています。

「障害者の雇用の促進等に関する法律」などの法律の改正に合わせ、法律の概要と考え方を学ぶeラーニングや、具体的な行動を促進するためのブラザーグループ内のジョブコーチによる学習の場を設けています。また、障がいを持つ従業員から相談を受けるなどの役割を担う、「障害者職業生活相談員」を各工場の従業員から選任し、相談員を対象にした継続的な知識向上プログラムを、外部講師を招き実施しています。このように、職場全体で理解しサポートできる体制を構築しています。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

従業員とともに

多様な働き方の支援



ダイバーシティを推進するために

ブラザーグループは、従業員が多様なライフスタイルを選択できるよう、各国・各地域の法律、労働環境、従業員の状況を踏まえ、多様な働き方を支援しています。能力、人格、資質、行動に優れた人材が国境を越えて、適材適所に配置され、グループを牽引できるよう、制度の充実や従業員の意識改革活動を行い、ダイバーシティの推進に取り組んでいます。

ブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)は、これまでの取り組みが評価され、厚生労働省、愛知県、名古屋市から、女性活躍推進、子育て支援など多様な働き方に対応する企業として、認定されています。

社外からの評価

活動項目	認定企業の要件	認定されたロゴマーク	
女性活躍推進	女性の活躍促進に向け、トップの意思表明や採用拡大、職域拡大、育成、管理職登用のほか、ワークライフバランスの推進や働きながら育児・介護できる環境づくりなどに取り組んでいく企業	あいち女性輝きカンパニー	名古屋市女性の活躍推進企業
子育て支援	結婚・出産後の労働環境を整備し、子育てをサポートする働きやすい企業	"くるみん"認定企業(厚生労働省)	名古屋市子育て支援企業
仕事と育児・介護の両立	仕事と育児・介護とが両立できるように、様々な制度をもち、職場環境を整え、多様でかつ柔軟な働き方を労働者が選択できるような取り組みを実施している企業	愛知県ファミリー・フレンドリー企業	仕事と介護の両立(厚生労働省)
仕事と治療の両立	がんや脳・心臓疾患、糖尿病などの疾病を抱える労働者が治療を続けながら、安心して働くことができるように、治療と仕事の両立支援に取り組んでいる企業	あいち治療と仕事の両立支援カンパニー	—

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

従業員とともに

多様な働き方の支援

女性活躍推進のための活動

ダイバーシティ経営の課題の1つとして女性活躍推進の施策を実施

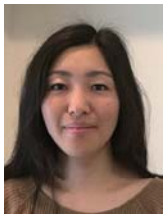
ブラザー工業は、「女性活躍推進に関する宣言」や、「女性活躍推進に関する行動計画」の策定、在宅勤務制度の導入、有識者を招いての講演会を積極的に行っています。従業員から、社内のロールモデルとなるキャリアを知りたいという声があり、イントラネット上で社内の女性管理職のこれまでのキャリアを紹介したり、少人数の社内座談会「キャリアコミュニティ」を実施したりしています。このキャリアコミュニティは、男性の仕事と育児の両立などさまざまなテーマを取り上げ、参加者同士の意見交換や社内ネットワークをつくる場としても活用されています。

また、キャリア形成のための海外勤務経験の必要性も挙げられ、2017年度には、若手従業員が海外勤務経験を積む従来のトレーニー制度を拡充し、入社3・4年目の従業員を対象とする事務系海外派遣制度を導入しました。このように海外拠点でのOJTと幅広い経験を通じて、将来の活躍の場を広げる機会を設けています。

ダイバーシティ経営やワークライフバランスの観点から、多様な働き方を実現するために、性別にかかわらず働きやすい職場環境を目指して継続的に取り組みます。



キャリアコミュニティ



トレーニー制度利用者の声

~同じ目標に向かって関係者を巻き込み、試行錯誤を重ねながら、さまざまな学びや気付きを得る~

ブラザー工業株式会社 プリンティング・アンド・ソリューションズ事業 SOHO・新興国推進部

田渕　麻美

入社5年目の2018年1月から3カ月間、イギリスにある欧州統括会社にトレーニーとして勤務しました。販売の現場という、よりお客様に近いところで日々働くメンバーとともに、新サービスの立ち上げを推進するという貴重な経験ができました。立場が違えば見えているものや考え方が違うということを実感し、その中でいかに同じ目標に向かって関係者を巻き込めるかを考え、試行錯誤を重ねながらさまざまな学び・気付きが得られました。この経験を生かして、今後はよりチャレンジングな仕事に取り組んでいきたいです。

▶女性活躍推進に関する宣言　http://positiveaction.mhlw.go.jp/declaration/add/search_detail/?id=1346

PDF 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画(ブラザー工業株式会社行動計画) [PDF/308KB]
http://download.brother.com/pub/jp/csr/pdf/diversified_plan.pdf

PDF 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画(ブラザー工業株式会社行動計画) [PDF/286KB]
http://download.brother.com/pub/jp/csr/pdf/diversified_plan2.pdf

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

従業員とともに

多様な働き方の支援

女性活躍推進のための活動

主な施策

2016年度	・社内の先輩従業員を囲んだテーマ別座談会「キャリアコミュニティ」 ・女性のためのがんセミナー ・社長によるブラザーの女性活躍に関する社外講演会 ・女性キャリアを考える他社交流会	 社長(当時)による社外講演会
2017年度	・各部門で女性活躍に向けた方針作成 ・社内の先輩従業員を囲んだテーマ別座談会「キャリアコミュニティ」 ・女性従業員対象の、キャリア支援研修および外部の専門家によるキャリア相談	 キャリアコミュニティ
2018年度	・愛知県副知事による管理職向け講演会 社内の先輩従業員を囲んだテーマ別座談会「キャリアコミュニティ」 ・育児・介護休職中従業員のうち希望者に、会社情報を入手できるタブレット端末の貸与開始 ・育休中従業員の復職サポートを目的とする「育休カフェ」 ・女性従業員対象の外部の専門家によるキャリアカウンセリング	 育休カフェ

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

従業員とともに

多様な働き方の支援

仕事と生活の両立支援

制度の拡充と取得しやすい雰囲気づくり

ブラザー工業は、従業員が安心して生き生きと働き続けられるために、フレックスタイム勤務や、育児や介護のための休職、短時間勤務、看護休暇などワークライフバランスを支える各種制度を整備しています。2011年度からは、いずれ訪れる大介護時代に備えた仕事と介護の両立を考えるセミナーを実施しました。特に管理職には参加を義務づけ、部下の介護リスクに備えるための情報提供を行っています。2015年度には、育児や介護などを行う従業員を対象とした在宅勤務制度を導入し、柔軟な働き方の選択肢を増やしました。

同時に、従業員の意見を取り入れ、制度が使いやすくなる工夫や理解を進める雰囲気づくりにも注力しています。2016年度には、がんに関する正しい知識を持ち、元気に長く働き続けるための「女性のためのがんセミナー」を開催したほか、社内の先輩従業員を囲んだテーマ別座談会「キャリアコミュニティ」を開始しました。いずれも、従業員が参加しやすい勤務時間内に開催しています。



女性のためのがんセミナー

ブラザー工業株式会社の各制度の利用者数*1

	2016年度	2017年度	2018年度
育児休職*2	60名 (17)	61名 (19)	73名 (35)
介護休職*2	5名 (3)	3名 (1)	5名 (1)
育児のための短時間勤務	153名 (5)	156名 (6)	177名 (9)
介護のための短時間勤務	2名 (1)	2名 (1)	3名 (0)
看護休暇	31名 (8)	31名 (9)	33名 (7)
在宅勤務制度	41名 (8)	57名 (6)	78名 (7)

*1 : ( )内の数字は男性の利用者数　*2 : 各年度での取得開始者数

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

従業員とともに

多様な働き方の支援

仕事と生活の両立支援

ブラザー工業株式会社の各制度の利用者数



在宅勤務制度利用者の声
~Web会議システム「OmniJoin（オムニジョイン）」を常時接続し、職場のメンバーとコミュニケーションを取りながら業務を遂行~

ブラザー工業株式会社　マーケティング企画センター　総合デザイン部
高村　遵

週に2日の在宅勤務をしています。職場とWeb会議システム「OmniJoin（オムニジョイン）」を常時接続しており、職場のメンバーとコミュニケーションを取りながら業務を行っています。チームの会議には自宅から参加しており、出社している状態と変わりありません。休憩時間に家事をしたり、子どもの急な体調不良のときに勤務を終了して看病をしたりするなど、在宅勤務制度のおかげで、ワークライフバランスを実現できていると感じています。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

従業員とともに

人材育成



グローバルな人材育成に向けて

従業員の多様性と個性を尊重し、優れた価値を提供できるグローバルな人材を育成

ブラザーグループは、「ブラザーグループ グローバル憲章」の「従業員」の項目に示しているように

（1） 従業員の持つ多様性の尊重

（2） 従業員による、さまざまな能力の発揮

（3） チャレンジングな仕事の提供

を重視しています。そして各国、各地域、各事業に則した人材育成と関連制度の充実を図ることが、従業員の長期にわたる才能・スキルの発揮に結びつくと考え、育成環境の整備とさまざまな制度を構築しています。

取り組みの一環として、節目の年齢でこれまでの経験や環境変化などを振り返り、なりたい姿を描くキャリアデザインプログラムや海外拠点のマネジメント層を育成する研修、若手従業員を対象に早期に複数の国で経験を積む海外派遣などを実施しています。

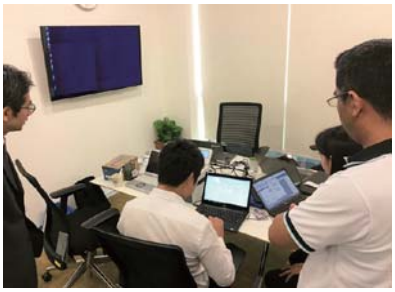
また、日本では2017年度から上司と部下が1対1で対話を行う1on1の取り組みを開始し、徐々に対象者を広げています。ブラザーグループは、これからもグローバルに計画的・長期的な人材育成を進めていきます。

グローバルな課題に対応できる人材を育成

さまざまな経験によって、広い視野と高い専門性を得る

ブラザーグループは、広い視野と高い専門性を持ち、グローバルな課題に対応できる人材を育成するため、ブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)と海外のグループ会社の間で人材を派遣する研修、「トレーニー制度」を2008年度から実施しています。

この研修は、人材育成計画に基づいて選出された若手の従業員が対象で、派遣期間は3か月から2年とし、派遣元と派遣先で事前に立案した研修計画にそったOJT(On the Job Training)を行います。トレーニー制度の開始当初は自身の専門業務に関係する研修が中心でしたが、2015年度からは、開発者が営業担当者と一緒にお客様を訪問し、ニーズや使用状況をお客様から直接聞くなど、専門性とは異なる経験を通じて新たな知見を得る研修も実施しています。また、2018年度からは、20歳代の技術者が1ヶ月間、海外の製造・修理現場で学ぶ短期派遣も開始しました。


新しいソリューションのデモを行うソフト開発者

開発者や技術者が普段の担当範囲とは異なる業務を学ぶことで、お客様のもとへ優れた価値をお届けするブラザー独自のマネジメントシステムであるブラザー・バリュー・チェーン・マネジメントを推進していける人材の育成を強化しています。

2018年度は、ブラザー工業からドイツやインドネシアなどのグループ会社に50名、フィリピンや中国にあるグループ会社からブラザー工業に12名の従業員を派遣しています。ブラザー工業入社9年目のあるソフト開発者は、お客様視点をより高めることを目指し、販売会社であるブラザーコマーシャル(タイランド) Ltd. に派遣されました。営業担当者と共にお客様のもとを訪問しニーズのヒアリングや購入後のサポートを行うなど、販売現場で実際に起こっている事実を自分の目で確認し体感することで、迅速かつ的確な対応の必要性を学びました。

ブラザーグループは、これからも優れた価値を提供できるグローバルな人材の育成に取り組んでいきます。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

従業員とともに

人材育成



グローバルな課題に対応できる人材を育成

さまざまな経験によって、広い視野と高い専門性を得る



トレーニー研修参加者の声
~お客様を訪問することでお客様の真の課題を知る~

ブラザー工業株式会社 開発センター ソフト技術開発部
小澤 良平

私は3ヶ月間、開発者としてタイの販売会社で技術サポートを行いながら、自分たちが開発した製品がどのように販売されているのか、またお客様がどんな課題を抱えているのかを学びました。お客様を訪問して得た情報をもとに、日本で開発したソリューションをお客様にどのように活用いただくかを現地スタッフと一緒に考えました。販売現場の最前線を知ることで、日本で業務を行っているだけでは得られない、たくさんの新しい発見がありました。

帰国後は、その経験や気づきを活かし、お客様が抱える課題の本質や、販売会社の戦略、アフターサポートのしやすさなどを具体的にイメージしながら、さらにお客様の期待に応えられる製品開発を目指しています。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

従業員とともに
人材育成



中国の生産拠点が「Good Factory賞」を受賞

組織的な仕組みと従業員の自律的な行動による人材育成

マシナリー事業の生産拠点である兄弟機械(西安)有限公司(以下、BMX)は、一般社団法人・日本能率協会が日本およびアジア地域で生産性や品質の向上など体質革新活動に取り組む工場を表彰する「GOOD　FACTORY賞(ものづくり人材育成貢献賞)」を受賞しました。

この受賞は、BMXがお客様に信頼される工場を目指して取り組んでいる全社的な教育や次世代リーダーの育成、各現場での自主的な勉強会などの人材育成が評価されたものです。

全社的な教育では、職位ごとに必要なスキルを習得するためのプログラムがあり、プログラムの70%は、スキルを既に習得した従業員が講師を担当します。従業員が講師をすることで、受講者に分かりやすく伝えるために創意工夫をするとともに、自身のスキル向上にも役立っています。


従業員が講師となりスキルを伝える


受講者が行った作業を確認

次世代リーダー育成研修は、グローバルに活躍できる次世代リーダーを育成することを目的に2017年から行っています。この研修の受講者は30歳代の従業員が中心で、自身の職場での課題からチャレンジするテーマを一人ずつ設定し、それを解決していきます。受講者は、成果を追求するだけではなく、成果を生み出した行動とその行動を選択した自身の考え方を振り返り、次世代を担うリーダーにとって重要な視点を学びます。

また、各現場では従業員自らがノウハウを共有する勉強会を開催するなど、さまざまな場面で従業員が自律的に行動して、生産性やスキルの向上を図っています。

ブラザーグループは、これからも優れた価値を提供できるグローバルな人材の育成に取り組んでいきます。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

従業員とともに

安全衛生・防災

安全衛生・防災の仕組みづくり

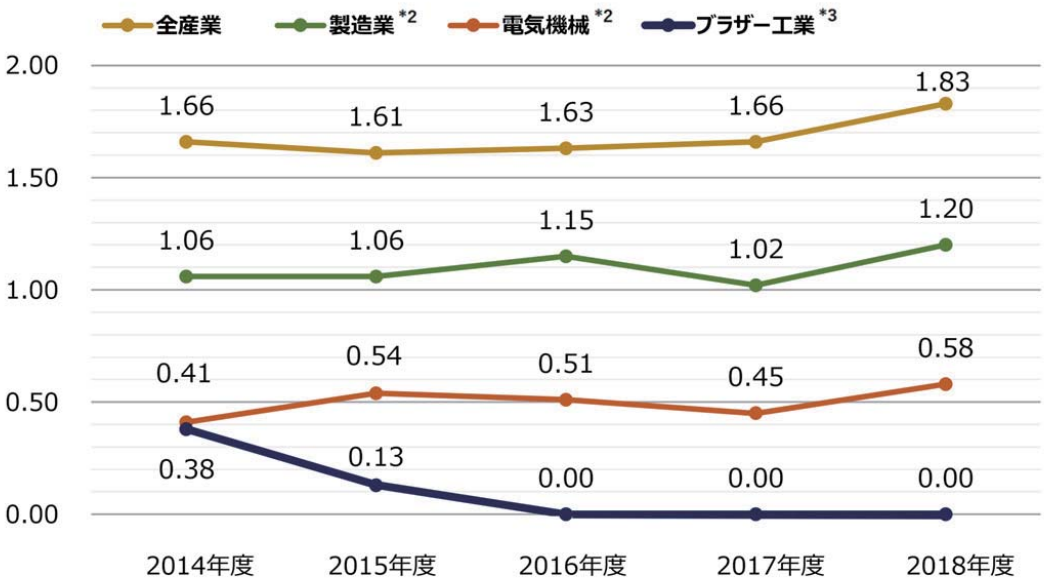
「安全防災基本方針」を定め活動を推進

ブラザーグループは「安全防災基本方針」を、「『安全第一』は、すべての活動の基本である。すべての従業員が安全に安心して健康に働ける快適職場となるように努めるとともに、安全文化を定着させる。」と定め、ブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)の安全衛生担当役員が委員長を務め、国内各拠点の役員で構成される中央安全衛生防災委員会を中心に、防災や従業員の疾病防止、快適職場づくりに継続して取り組んでいます。

国内拠点では、職場の安全衛生や防災の状況を確認するため、定期的に中央安全衛生防災委員長によるパトロールと、各拠点の安全防災委員によるパトロールを行っています。

ブラザー工業の主な国内拠点では、2016年度から2018年度の3年間、休業災害は発生していません。

度数率(休業)*1



*1 ：働災害による死傷者数/労働時間数×1,000,000
*2 ：厚生労働省「労働災害動向調査」による
*3 ：ブラザー工業の主な国内拠点

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

従業員とともに

安全衛生・防災





安全衛生・防災の仕組みづくり

「安全防災基本方針」を定め活動を推進

安全衛生面では毎年、拠点ごとに安全衛生委員会で策定した計画書に基づき、危険予知などの安全先取り活動や安全衛生教育などの活動を行っています。安全衛生教育は、ブラザー工業の全従業員を対象にe-ラーニングを行っているほか、化学物質などを扱う特殊作業に従事する従業員に対しては、その作業内容に合わせた教育を実施しています。また、社用車は、運転許可制度を設けており、交通安全講習の受講を義務付けています。

防災面では、万が一、災害が発生した場合に被害を最小限にとどめるための防災組織の整備や避難訓練、初期消火訓練、AED(自動体外式除細動器)を使用した救命講習、法令に基づく消防設備点検を各拠点で実施しています。

2007年に、地域や行政機関との間で大規模災害発生時における支援協力に関する覚書の締結を行い、2014年からは、覚書を締結した近隣の保育園と合同避難訓練を実施しています。

2016年からは、ブラザー工業の本社で災害時に設置する災害対策本部の設置訓練を実施しています。2019年は3月に、南海トラフ地震発生直後を想定し、社長が本部長、部門長やブラザー工業人事部安全防災グループが本部要員となる構成で、従業員の負傷者数や建物の損壊状態などの情報収集から、重要課題に対して本部長の指示が発信されるまでの演習を行いました。



訓練で設置した災害対策本部

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

従業員とともに

安全衛生・防災

グローバルに安全衛生・防災活動を推進

情報の共有とリスクの見える化

主要な海外生産拠点には、中央安全防災委員会の事務局であるブラザー工業人事部安全防災グループが、定期的にパトロールや監査を行っており、各拠点の安全衛生・防災レベルの向上や現地スタッフの育成につなげています。

国内・海外の主要生産拠点で発生した災害は、社内イントラサイトで共有しており、全ての拠点で災害の情報や対策内容を確認することができます。各拠点では、同種同類の災害が発生しないように、これら対策を水平展開しています。

毎年、日本で開催している安全防災大会では、優秀な安全防災活動を行った海外生産拠点を表彰するとともに、表彰された海外生産拠点の事例発表を行っており、拠点間の情報共有を図っています。

2017年度からは、生産現場に設置している設備などに潜在する危なさの度合いが一目でわかるように、リスクアセスメントで安全対策を行っても一定レベル以上の危なさが残ると判断されている設備など対して、リスクの度合いを表示する「リスクの見える化」を行っています。

また、2017年12月に、火災における従業員および職場の安全確保を目的とした「ブラザーグループ防災体制・管理規程」を制定しました。

この規程は、(1) 火災を未然に防ぐ「防火管理」、(2) 火災発生時に被害を最小限に止める「消火管理」、(3) 従業員の安全を確保する「人身安全管理」の計3要素から構成されています。

今後、この規程を主要な海外工場へ順次展開していきます。

海外主要生産拠点の労働災害件数と災害年千人率(休業・不休災害)



労働災害の年千人率：(災害件数/従業員数)×1000

ブラザーグループは、これからも従業員がより一層、安全で安心して働くことができる職場となるよう災害件数0件を目指し、継続的かつ積極的に安全衛生・防災活動を推進していきます。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

従業員とともに

健康経営の推進





「ブラザーグループ健康経営理念」を制定し、従業員の健康管理を推進

健康経営推進体制を構築

ブラザーグループは、モノ創りを通して優れた価値を創造し、世界中のお客様に製品やサービスを提供するため、全ての従業員がグローバルに日々活動しています。

その活動の礎である「ブラザーグループ　グローバル憲章」に示されているように、従業員が長期にわたり才能とスキルを発揮するためには、一人ひとりの健康管理が重要であると考えています。

ブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)は2016年9月に、ブラザーグループ健康経営理念を制定し、最高健康責任者(CHO: Chief Health Officer)のもと、さまざまな活動に戦略的に取り組んでいます。

ブラザーグループ健康経営理念

ブラザーグループは、従業員一人ひとりの心身の健康こそ大切な「財産」ととらえ、『明るく・楽しく・元気に』、活き活きとさまざまな能力を発揮できることが、グループの成長につながると考えています。

従業員一人ひとりが健康であることは、ブラザーグループの継続した発展の礎であるとともに、健康寿命の延伸など社会の要請に応えるものです。

健康経営の実現のため、会社・労働組合・健康保険組合が一体となり、従業員の健康の保持・増進に戦略的に取り組みます。

ブラザー工業株式会社
代表取締役社長
最高健康責任者
佐々木 一郎

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

従業員とともに

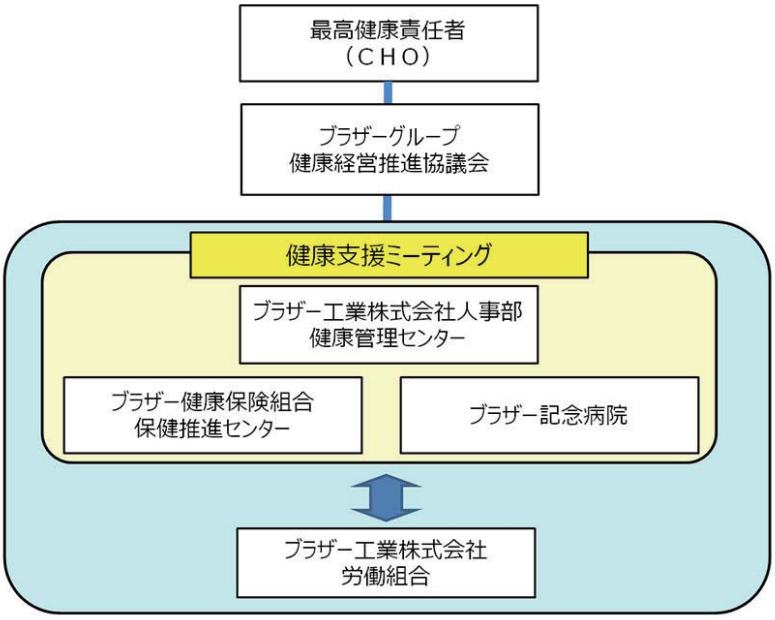
健康経営の推進

「ブラザーグループ健康経営理念」を制定し、従業員の健康管理を推進

健康経営推進体制

ブラザー工業は、ブラザーグループ従業員の健康管理やメンタルヘルス対策や健康づくりを推進する健康管理センターを設置し、健康保険組合や労働組合と一体となり、PDCAサイクルを回して、効果的・効率的な従業員の健康の保持・増進活動を展開しています。ブラザーグループの各国、各地域の拠点では、産業医を配置もしくは医療機関と提携し、従業員の心身の健康の保持・増進に取り組んでいます。

ブラザーグループ健康経営推進体制図



ブラザーグループ健康経営推進協議会

ブラザー工業および国内のグループ会社の安全衛生担当責任者が年1回集まり、従業員の健康に関する課題を抽出し、次年度以降の活動方針や目標を決定しています。また、健康保険組合と優れた活動を展開したグループ会社が活動事例の発表を行い、効果的・効率的な取り組みについて情報を共有しています。

2018年度からは、健康経営への取り組みを総合的に評価し、優秀であったグループ会社をCHOが「ヘルシーカンパニー」として表彰する制度を新設しており、その表彰を行っています。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

従業員とともに

健康経営の推進





「ブラザーグループ健康経営理念」を制定し、従業員の健康管理を推進

健康経営推進体制

健康支援ミーティング

ブラザーグループ健康経営推進協議会で決定した方針に従い、ブラザー工業健康管理センターと健康保険組合の保健推進センターおよびブラザー記念病院が連携し、数値目標達成のための具体的な活動内容を決め、実施方法の検討とその結果の評価を行っています。また、労働組合と協働したイベントを企画しています。

従業員の健康管理・状況 (2018年度 ブラザー工業株式会社)

従業員の健康管理		
定期健診	受診率	100%*1
	35歳以上の従業員を対象とする総合健診の受診率	96.4%*2
	有所見率	57.0%
	2次検査受診率	75.8%
特定健診*3	受診率	96.1%*4
	メタボリックシンドローム率	12.3%
ストレスチェック	受診率	88.0%*1
ブラザー健康生活月間	参加率	39.9%*1
	満足率	91.0%

*1：ブラザー工業従業員に対する割合
*2：35歳以上のブラザー工業従業員に対する割合
*3：厚生労働省が定める健診
*4：特定健診の対象従業員に対する割合

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

従業員とともに

健康経営の推進





「ブラザーグループ健康経営理念」を制定し、従業員の健康管理を推進

健康経営推進体制

従業員の健康管理・状況 (2018年度 ブラザー工業株式会社)

従業員の健康状況		
年間総実労働時間		1956時間
年間所定外労働時間		196時間
平均勤続年数		15.2年
離職者数		54名
有給休暇取得率・日数		82.8%・16.6日
長時間労働者数	所定外労働時間が月に100時間を越えた人数	3名
生活習慣病	糖尿病	5.3%*1
	高血圧	9.2%*1
	脂質異常症	13.4%*1
喫煙率		14.9%*1
運動習慣者比率	週1回以上、30分程度の運動習慣のある人	40.6%*1
ストレスチェック	高ストレス率	10.1%
従業員1人当たりの医療費総額の平均		115,246円
従業員満足度	従業員意識調査「私は、ブラザーの一員として、総合的に満足している」の回答(5段階評価)	3.79

*1：ブラザー工業従業員に対する割合

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

従業員とともに

健康経営の推進

心身における健康の保持・増進への活動

グループ全体の健康の保持・増進を目指して

ブラザー工業健康管理センターの産業医と保健師は毎年、ブラザーグループの拠点を訪問しています。2018年度は、生産拠点のブラザーインダストリーズ(ベトナム)Ltd.、ブラザーマシナリー(ベトナム)Co., Ltd.、ブラザーインダストリーズ(サイゴン)Ltd.、販売拠点のブラザーインターナショナル(ベトナム)Co., Ltd.を訪問しました。

訪問先では、ブラザー工業からの出向者やその家族に対する健康面談やメンタルヘルス講習、生活環境のヒアリングを実施するとともに、拠点と提携している医療施設の視察を行いました。また、出向者が医療機関を受診する際の予約代行や通訳、重症疾患発症時のサポートをしてくれる医療サポートサービス会社と情報交換を行いました。

心の健康 ～予防・早期発見・復職のフォロー～

ブラザー工業は、従業員に対する継続的なメンタルヘルス教育を2007年から行っており、自らストレスに気づき適切な対処ができること(一次予防)、上司が部下の不調を早期に発見し対応ができること(二次予防)を目指しています。また、病気を発症した後も自分らしく働き続けることができるよう、復職支援(三次予防)にも各職場と協力し取り組んでいます。

一次予防につながるセルフケア講習は、5年ごとに全従業員が受講しています。講習では、体調管理の方法やストレスとの付き合い方について、事例をもとに対処法を自ら考える時間にしています。

2014年度、労働安全衛生法改正に伴い「ストレスチェック」を導入しました。2017年度からは「ストレスチェック」の結果を部門単位で分析し、健康リスク評価を行っています。リスク評価の結果は産業医・保健師から全部門の責任者にフィードバックされ、各部門は、自部門のストレス状況の課題を認識し、部門長を中心に職場改善のための施策を検討・実行しています。2018年度は健康リスク評価が一定の基準以下となった部門の管理職向けに、職場コミュニケーション向上のためのセミナーを開催しました。また、部門オリジナルの壁新聞(ココカラ便り)の発信など、コミュニケーションに特化した取り組みを展開しました。



セルフケア講習



ココカラ便り

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

従業員とともに

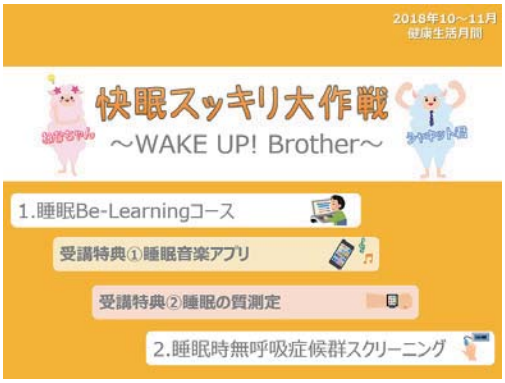
健康経営の推進

心身における健康の保持・増進への活動

身体の健康 ～健康づくり活動・受動喫煙防止と禁煙サポート～

ブラザー工業健康管理センターは、毎年10月～11月を「ブラザー健康生活月間」とし、ブラザー工業人事部安全防災グループ・健康保険組合・労働組合と協力し、さまざまな取り組みを行っています。

2018年度は、より良い睡眠の確保を目指して、「快眠スッキリ大作戦～WAKE UP! Brother～」と名付けた睡眠改善企画を実施し、ウェアラブル端末を使用した睡眠の質測定や睡眠音楽アプリの活用、睡眠時無呼吸症候群スクリーニングなど、さまざまな活動を展開しました。また、e-ラーニングを活用した講習も開催し、多くの従業員が受講しました。



健康生活月間案内

受動喫煙対策では、2016年度に建物内禁煙、2018年度に就業時間内禁煙の徹底を実施しました。喫煙率の低下を目指し禁煙サポートを強化しており、ブリンクマン指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が400以上で検査を希望する喫煙者に対して肺検診を行いました。また、年代別、職場別などセグメント化した禁煙教育を展開しています。



肺検診ポスター

ブラザーグループは、これからも従業員の心身の健康の保持・増進のための取り組みを推進していきます。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

ビジネスパートナーとともに

CSR調達の推進





お取引先とともにCSR調達を推進

「調達方針」と「CSR調達基準」を公開

ブラザーグループは、部品・材料を調達するお取引先の皆さまにCSR調達の考え方を共有するため、「調達方針」と「CSR調達基準」を公開しています。「調達方針」と「CSR調達基準」は、人権・労働、安全衛生、地球環境、公正取引・倫理、品質・安全性、原材料、情報セキュリティー、社会貢献の分野に広げています。

ブラザーグループは、お取引先の皆さまとともにCSR調達を推進していきます。

調達方針

- すべてのお取引先に対して、公平・公正な取引を行います。
- 活動する国や地域における関連法規、規則を順守し、お取引先と相互信頼関係を築いて、成長し合うことを目指します。
- 地球環境に配慮したグリーン調達を推進し、製品のライフサイクルを通じた環境への負荷を低減します。
- あらゆる場面でお客様を第一に考え、優れた品質と適正なコストの追求に努めます。
- 紛争鉱物*問題を重要な課題としてとらえ、責任ある鉱物調達の実践に取り組みます。

*：紛争地域で不当な方法で採掘された鉱物。その取引は武装勢力の資金源となり、紛争地域での人権侵害、労働問題、環境破壊等への関与が指摘されています。

CSR調達基準 (お取引先へのお願い)

- すべての人の基本的人権を尊重し、不当な労働の強制、児童就労などは行わないでください。
- 従業員の安全と健康を確保し、安全で働きやすい職場環境づくりに取り組んでください。
- 地球環境への配慮に前向きに取り組んでください。
- 関連法規、規則を順守し、公平・公正で最高度の倫理感を持った取引を行ってください。
- お客様に安全かつ優れた品質の製品をお届けするための仕組みづくりに、取り組んでください。
- 情報管理体制を構築し、個人情報、機密情報を、適切に管理してください。
- 地域社会に対する社会的・経済的・文化的責任を可能な限り分担することにより、よき企業市民となるよう努力してください。
- 紛争地域において不当な方法で採掘された鉱物を、原材料として使用しないよう努力してください。

▶英語版　調達の方針・基準
https://global.brother/en/csr/stakeholder/partner/csr#c02

PDF 中国語版　調達の方針・基準 [PDF/111KB]
http://download.brother.com/pub/com/cn/csr/partner/policy-cn.pdf

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

ビジネスパートナーとともに

CSR調達の推進

お取引先との信頼関係を構築

2019年度方針説明会で、奴隷(強制)労働に関するアンケート調査と紛争鉱物調査への協力を依頼

2019年3月から4月にかけて、ブラザーの生産拠点がある日本、中国、ベトナム、フィリピンなどで2019年度の方針説明会を開催し、合計約460社、約900名のお取引先の皆さまに参加いただきました。



方針説明会

方針説明会では、毎年、ブラザーグループの現状や目指す姿を共有するとともに、品質向上や安定供給体制の構築、リスク管理体制の強化、CSR調達基準の遵守をお願いしています。また、海外での方針説明会では、優秀なCSR活動に取り組んでいるお取引先を表彰しています。

今年は上記に加え、奴隷(強制)労働に関するアンケート調査の改定と、その背景となる法律の施行動向や市場の要請について説明を行いました。また、製錬業者に紛争地域で採掘された鉱物資源が使用されていないかを確認する紛争鉱物調査への協力をお願いしました。

方針説明会に参加したお取引先からは、「ブラザーの経営の方向性を理解することができた」「ブラザーの購買担当者との対話を通じて互いに理解し、関係を強化できるとても有意義な機会だった」「品質や納期を守ってブラザーとWin-Winな関係を作っていきたい」などの声がありました。

ブラザーグループは、これからもお取引先の皆さまとの対話によって良好な関係を構築しながら、ともに成長していくことを目指します。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

ビジネスパートナーとともに

CSR調達の推進

お取引先訪問やCSR事例の表彰で、お取引先のCSR活動を推進

お取引先41社への訪問と、応募事例から最優秀CSR賞1社と優秀CSR賞4社を選定

マシナリー事業の生産拠点である刈谷工場、兄弟機械(西安)有限公司、ブラザーマシナリー(ベトナム)Co., Ltd.の3工場は、お取引先におけるCSR活動のさらなる推進に向け、2015年からCSR活動に関するアンケート調査や優秀な取り組み事例の表彰などを行っています。

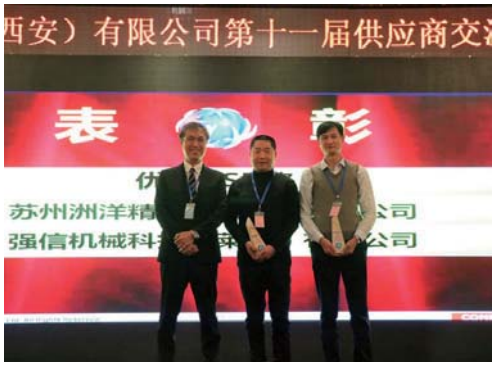
2018年度は、日本・中国・ベトナムに所在する計41社のお取引先を訪問し、2017年度に実施したアンケート調査の回答をもとにした現地確認を行いました。

現地では、製造プロセスの改善や環境保全への対応、従業員教育の状況などを確認し、安全マニュアルやルールを順守されていなかったお取引先には、改善をお願いしました。

また、お取引先からCSR活動の取り組み事例を募集し、応募いただいた62社の事例の中から、最優秀CSR賞を1社と優秀CSR賞を4社選定しました。

受賞したお取引先は、下請けや協力会社へのCSR啓発活動やBCP(事業継続計画)対応、障がい者の雇用や大学生に対して教育の場を提供するなど、さまざまな活動を積極的に行っています。

ブラザーグループは、これからもお客様に優れた価値を迅速に提供するため、ビジネスパートナーと相互信頼関係を築いて成長し合うことを目指します。



中国での表彰式


ベトナムでの表彰式

2018年度 表彰企業

最優秀CSR賞	・桑名エンヂニアリングプラスチック株式会社
優秀CSR賞	・蘇州洲洋精密机械科技有限公司 ・強信机械科技(莱州)有限公司 ・THIEN QUANG GROUP JSC ・VEAM FOUNDRY

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

株主とともに
IRコミュニケーション

株主・投資家とのコミュニケーション

積極的な情報開示

ブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)は、株主・投資家の皆さまへ適時かつ公平な情報の開示を継続的に行うことにより、株主・投資家の皆さまとの長期的な信頼関係の構築に努めています。

株主の皆さまに対しては、株主通信や招集ご通知、Webサイトなどを通じて、ブラザーグループの業績や最新の話題をお伝えしています。

機関投資家・証券アナリストの皆さまに対しては、四半期毎の説明会を通じて決算情報を提供しているほか、積極的に投資家訪問や取材の受け入れなどを行っています。

2018年度は投資家からのリクエストが多かったドミノ事業についての説明会を初めて実施したほか、2019年度からスタートの新中期戦略「CS B2021」の説明会を開催するなど、多数の機関投資家・証券アナリストの皆さまとコミュニケーションを図ることができました。

また、ブラザー工業は、2019年6月24日(月)に、「第127回定時株主総会」を名古屋市にある瑞穂工場内ホールで開催し、341名の株主の皆さまにご出席いただきました。本総会では、2018年度のブラザーグループの事業状況の報告や新中期戦略「CS　B2021」と2019年度の業績見通しに関する説明を行いました。議案審議では、多くの株主の皆さまからご賛同を得て、すべての議案について原案どおり承認可決されました。株主総会終了後には、株主の皆さまが当社役員と直接対話する「株主懇談会」も開催しました。



第126回定時株主総会

ブラザー工業は、これからもより多くの株主・投資家の皆さまとコミュニケーションをとる機会を作り、積極的な情報開示を行っていきます。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

個人株主の皆さま向けのイベントを開催

ブラザー製品の魅力や環境への取り組みを紹介

ブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)は、株主・投資家の皆さまとさまざまなコミュニケーションの機会を作り、信頼関係の構築に努めています。

株主アンケートで寄せられた「ブラザーについてもっと知りたい、もっとコミュニケーションを取りたい」という多数の声を受け、2017年度から個人株主の皆さま向けのイベントを開催しており、2018年度は8月に計3回のイベントを開催しました。

1回目はブラザー工業東京支社で、2回目はブラザー工業が本社を置く愛知県名古屋市にあるブラザーミュージアムで、ブラザーのモノ創りについて紹介しました。ブラザー工業東京支社には18名、ブラザーミュージアムには34名の個人株主の皆さまとその家族が参加し、ラベルライター「ピータッチ」の分解・組み立てを行うことで、製品内部の仕組みについて学んでいただきました。分解・組み立てに使った「ピータッチ」は、記念品として参加者に贈られました。

3回目は、愛知県名古屋市の東山動植物園で開催し、29名が参加しました。普段は入ることができない飼料室の見学や、動物への餌やり体験、絶滅危惧動物をモチーフにしたオリジナルトートバッグの製作を行い、生物多様性やブラザーの環境への取り組みについて理解を深めていただきました。


「ピータッチ」の液晶パネルを観察する参加者


東山動植物園飼料室の見学

イベントに参加された方々からは、「子どもも楽しめるイベントは『ブラザーのファン作り』のためにとても良い取り組みであると思う」、「楽しく学ぶ中で、ブラザーについて知ることができた」、「ブラザーのことを身近に感じることができるので今後もぜひ実施してほしい」という感想が寄せられました。

ブラザー工業は、これからも株主・投資家の皆さまと直接コミュニケーションができる機会を大切にし、会社や製品の魅力を伝える活動を続けていきます。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

株主とともに
外部からの評価

SNAMサステナビリティ・インデックス

8年連続で「SNAM サステナビリティ・インデックス」構成銘柄に選定

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社が独自に設定している「SNAMサステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に、ブラザー工業は、2012年から8年連続で選ばれました。



「SNAMサステナビリティ・インデックス」は、2012年8月から設定されており、SOMPOリスケアマネジメント社の環境調査とインテグレックス社の社会・ガバナンス調査から企業のESG(環境・社会・ガバナンス)を評価し、構成銘柄を選定しています。

年金基金や機関投資家向けなど、ESG評価の高い企業の株式に投資する社会的責任投資(SRI: Socially Responsible Investment)ファンドの運用に活用されています。

設定当初から8年連続での採用は、ブラザー工業のESGの取り組みが継続的に評価された結果と捉えています。

ブラザーグループは、これからも中長期的な視野に立ってグローバルなCSR経営を推進することで、すべてのステークホルダーからの信頼を積み重ねるとともに、さらなる事業の成長を目指します。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

株主とともに
外部からの評価

健康経営銘柄2019・健康経営優良法人2019

健康経営銘柄は2017年以来2度目の選定、健康経営優良法人は3年連続の認定

ブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)は2019年2月、経済産業省と東京証券取引所が共同で選出する「健康経営銘柄」に2017年以来2度目の選定をされました。また、経済産業省が設計し日本健康会議が運営する健康経営優良法人認定制度において、3年連続で「健康経営優良法人」に認定されました。





「健康経営銘柄」は、東京証券取引所に上場している企業の中から、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業を選定する制度で、ブラザー工業はブラザーグループ健康経営理念に基づいた、労働時間の適正化やメンタルヘルス対策などの取り組みが評価され選出されました。

「健康経営優良法人」は、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度で、ブラザー工業のほかにグループ会社である、株式会社エクシング・株式会社ニッセイ・株式会社ビートップスタッフ・ブラザー販売株式会社・ブラザーリビングサービス株式会社・ブラザーインターナショナル株式会社・株式会社ブラザーエンタープライズ・ブラザー不動産株式会社・ブラザーロジテック株式会社・三重ブラザー精機株式会社の10社が認定されています。

ブラザーグループは、これからも従業員の健康保持・増進に対する取り組みを戦略的に進めていきます。

*:「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

地域社会とともに

グローバルな社会貢献活動





ブラザーグループ全体で一体感を持った社会貢献活動を推進

所属する国や地域に対する貢献を常に意識

ブラザーグループは、「ブラザーグループ　グローバル憲章」に示されている「所属する国や地域に対する貢献を常に意識し、地域社会に対する社会的・経済的・文化的責任を可能な限り分担することにより、よき企業市民となるよう努力する」という考え方に基づき、下記2点の活動を中心に、ブラザーグループ各拠点と連携し、グローバルに一体感を持った社会貢献活動を推進しています。

（1）地球環境への配慮に関連した活動
（2）「地域」「人づくり(従業員を含む)」を意識した社会貢献活動

地球環境への配慮に関連した活動としては、環境スローガンである「Brother Earth」のもと、環境配慮製品の創出や事業所の環境負荷削減、環境保護団体の支援、従業員参加の環境保全活動など企業活動のあらゆる面で継続的な取り組みを行っています。

「地域」「人づくり」を意識した活動としては、例えば日本では、2008年から地域の課題解決に取り組む若手起業家を支援する「東海若手起業塾」に協賛しています。また、世界各地で開催されているがん患者を支援するチャリティー活動に、さまざまな拠点の従業員が参加しています。

各国・地域の社会貢献活動事例

活動分野	活動	活動拠点
地球環境への配慮に関連した活動	環境配慮製品の創出や事業所の環境負荷削減、環境保護団体の支援、従業員参加の環境保全活動	ブラザー工業株式会社 各国・地域の製造・販売拠点
「地域」「人づくり」を意識した活動	地域の課題解決に取り組む若手起業家を支援する「東海若手起業塾」	ブラザー工業株式会社
	がん患者を支援しがん征圧を目指すチャリティー活動への従業員参加	・ブラザー工業株式会社 ・ブラザーインターナショナルコーポレーション(U.S.A.) ・ブラザーインターナショナル(ニュージーランド)Ltd. など

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

地域社会とともに

グローバルな社会貢献活動





ゴールデンリングプロジェクト

がん患者を支援するチャリティーイベントへの参加をグローバルに推進

ブラザーグループではグローバルで一体感を持った従業員参加の社会貢献活動を目指し、がん患者を支援するチャリティーイベントへの参加を推進しています。支援活動を各拠点へとつなげ、世界地図に支援の輪を描いていくことから、2011年にこの活動を「ゴールデンリングプロジェクト」と命名し、2018年度は、世界20拠点で従業員とその家族がプロジェクトに参加しました。

「ゴールデンリングプロジェクト」に取り組む拠点のうち多くは、チャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ」に参加しています。このイベントは、参加者が寄付を行うとともに24時間歩き続けることで、がん患者を励まし勇気づけ、がんへの意識や備えを学ぶイベントです。募った寄付金は、がんの新治療や新薬開発、若手医師の奨学金などの活動に活用されています。

ゴールデンリングプロジェクト紹介映像



*：動画はYou Tubeを利用しています。(英語 約3分)
https://www.youtube.com/watch?v=pv82RbVc8zs&feature=youtu.be

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

地域社会とともに
グローバルな社会貢献活動

ゴールデンリングプロジェクト

2018年 ゴールデンリングプロジェクト参加拠点


ニュージーランド


中国


アメリカ(ニュージャージー)


アメリカ(テネシー)


ドイツ


スロバキア


イギリス(マンチェスター)



シンガポール



マレーシア


イギリス(レクサム)


日本


フランス


インドネシア


韓国


ブラジル


オーストラリア


ベトナム


インド


タイ


フィリピン

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

地域社会とともに
グローバルな社会貢献活動





大規模災害への対応

会社と従業員が一体となった支援

世界各地で発生する大規模災害に対して、ブラザーグループは会社と従業員が一体となった支援に取り組んでいます。主な支援は以下の2つです。

1. グループからの義援金による支援
2. 従業員からの寄付やボランティア活動による支援

会社からの義援金は、緊急支援として主に赤十字社やNPOなどに拠出され、従業員からの寄付やボランティア活動は、被災地のニーズに合わせて役立てられます。

支援先を拡大

ブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)は、ブラザーグループの従業員から集まった寄付を毎年、被災地に届けています。2018年度は、東日本大震災直後から支援を続けている宮城県七ヶ浜町に加え、津波による被害が大きかった宮城県女川町の女川向学館(NPO法人カタリバ運営)と、かねてからブラザー工業がブラザー製品を寄贈するなど支援していた、福島県のNPO法人しんせいに寄付を行いました。

女川向学館は被災した子どもたちの学習指導と心のケアを、NPO法人しんせいは主に東日本大震災において大きな被害を被った障がい者の方々が安心して生活できるように支援しており、寄付はこれらの活動に活用されます。

東日本大震災直後から継続して支援している宮城県七ヶ浜町長からは、「まるで親戚のように、遠くにいても自分たちのことを思ってくれている、その気持ちが嬉しい」とのコメントをいただきました。



寄付を活用して整備した図書室で絵本を楽しむ七ヶ浜町の子ども達



女川向学館の授業風景



ブラザー製品「スキャンカット」の使い方を学ぶしんせいの利用者

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

地域社会とともに
グローバルな社会貢献活動

大規模災害への対応

東日本大震災を風化させないために

震災を風化させないため、そして災害を自分のこととして考えるために、2018年11月から12月に「震災復興支援写真展」を、2019年2月と3月に「東北トークリレー(講演会)」を、従業員対象に開催しました。

写真展では、被災地の現在の様子がわかる写真を展示し、トークリレーは、被災者の方々をお招きして被災時や被災後のさまざまな体験をお話しいただきました。これらにより社会の一員として何ができるのか、災害に対してどう備えるのかなど改めて考える機会となりました。

参加した従業員からは「失くしたものを憂うのではなく、自ら行動する姿勢に心打たれた」「被災者のお話を直接聞けて、被災地域や被災者の皆さんとの距離感がぐっと縮まった」などの感想がありました。

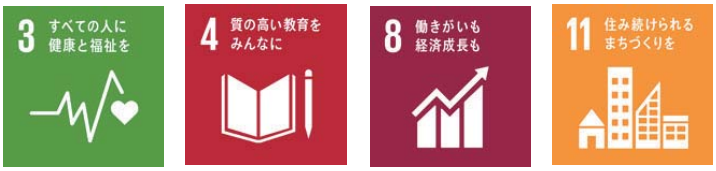

写真展


東北トークリレー

ブラザーはこれからも、被災地の皆さまに寄り添う温かいコミュニケーションを大切にしていきます。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

地域社会とともに
各地域での社会貢献活動



社会課題の解決や地域活性化にビジネスとして取り組む若者を支援

従業員がプロボノとして顧客セグメントの分析や商標出願戦略の策定などを行い貢献

ブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)は、本社のある東海地区で社会課題の解決や地域活性化にビジネスとして取り組む若者を支援する「東海若手起業塾」への協賛を2008年から開始しました。2012年からは、ブラザー工業の従業員が、業務で培ったスキルや経験を生かしてプロボノとして参画しています。

起業塾では、起業家の事業戦略の立案や、製品開発を後押しするなど事業を成長軌道に乗せるための取り組みをしており、2017年までの10年間で合計41組の介護や福祉、障がい者の就労支援などに携わる起業家を支援しました。

2018年度は、地域に根付く独自産業の活性化や若者の引きこもりなどの社会課題解決を目指す5名が、11期生として起業塾に参加しました。

プロボノとして参画した従業員は、それぞれに、ターゲットの絞り込み、損益計算、製品の価値を向上させる戦略の立案、商標調査、商標申請のサポートなど自身のスキルや経験を活用した支援を行いました。

2019年3月にブラザー工業の従業員を対象に行ったプロボノ活動報告会では、プロボノとして参画した従業員から、「起業家の支援を通じて、物事を見る視点が高まった」「価値観の異なる人との意見交換で刺激を受けた」「自分の力を幅広い分野で試すことができ、価値ある経験ができた」という報告がされました。


起業家と対話するプロボノの従業員(右)

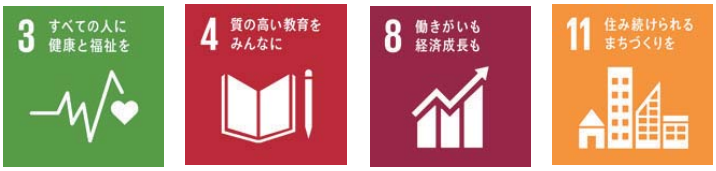


プロボノ活動報告会

ブラザー工業は、これからも社会的課題の解決や地域の活性化にビジネスとして取り組む若手起業家を支援する起業塾への協賛と、従業員のプロボノ活動によって、社会に貢献していきます。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

地域社会とともに
各地域での社会貢献活動



ベトナムで、子どもたちが通いたいと思える学校作りに貢献

従業員が集めた書籍を寄贈し、図書室を改装

ブラザーインターナショナル(ベトナム)Co., Ltd.(以下BIC(V))は、2018年7月、ホーチミンの南西に位置するメコンデルタ地方にある中学校に書籍を寄贈し図書室の改装を行いました。

この中学校には、家の手伝いなどを優先し学校に来ない子どもが多く、教員は毎年各家庭を訪問して子どもたちが登校するように働きかけています。BIC(V)の従業員は、一人でも多くの子どもたちが勉強に興味を持つよう図書室の書籍を充実させたいと考え、自ら書籍を持ち寄るとともに、友人や販売代理店に協力を求め、歴史や地理、文学など、さまざまな分野の書籍350冊以上を集め寄付しました。書籍を置く図書室は、老朽化が進んでいたため、BIC(V)と販売代理店の従業員および教員ら約70名が協力し、壁や扉を美しく塗り替え、室内には新たな本棚を設置しました。寄付された書籍は、ジャンルごとに分類され本棚に並べられました。


寄付された書籍を整理する従業員

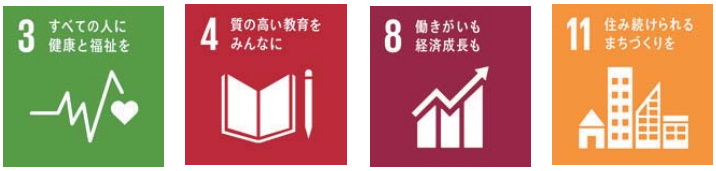

壁をペンキで塗り替え、絵が描かれる図書室

さまざまな分野の書籍が並び新しくなった図書室に、校長からは「従業員の皆さんの手で図書室を改装していただきありがとうございます。子どもたちは、図書室が新しくなりとても喜んでいます」というコメントが寄せられました。

BIC(V)は、これからも地域に対する貢献を常に意識し、地域の学校への支援に継続的に取り組んでいきます。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

地域社会とともに
各地域での社会貢献活動



カナダで、途上国の子どもたちのためにバザーの収益を寄付

支援している子どもたちと交流しながら、成長を見守る

ブラザーインターナショナルコーポレーション(カナダ)Ltd.(以下、BIC(カナダ))は、2015年から、国際的な非政府組織プラン・インターナショナルと連携し、途上国の子どもたちを支援する活動を行っています。

途上国では、教育や保健医療などの体制がないために、多くの子どもたちが貧困や差別の連鎖から脱出できない状況にあります。BIC(カナダ)は、子どもたちを支援する資金を作るため、定期的に慈善バザーを実施しています。バザーでは、従業員が手作りしたパンケーキやニットの小物、アクセサリーなどを販売しています。そこで得た収益と同額を会社が上乗せしたうえで、子どもたちの住む地域に寄付され、教育や保健医療を整備するために活用されています。さらに2018年には、プラン・インターナショナルが西アフリカのブルキナファソで行う教育プロジェクトにも寄付されました。このプロジェクトでは、新しい学校の建設や教師の養成などが行われています。

また従業員は、支援している子どもたちのうち45名と文通をしています。従業員がブルキナファソを訪問する計画もあり、子どもたちとの交流はますます広がる予定です。従業員からは「子どもたちと会い、寄付金が彼らの生活に少しでも役立っていることが確認できれば嬉しいです。今後も、子どもたちとの交流を大切にし、支援を続けていきたいと思っています」という声がありました。


世界各地の子どもたちを支援

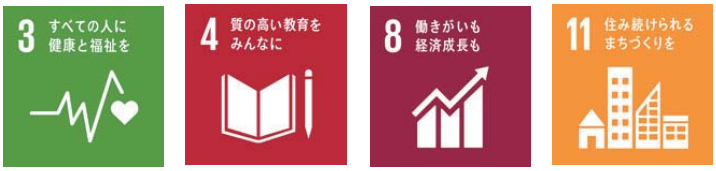


社内に飾られている子どもたちからの手紙

BIC(カナダ)はこれからも、子どもへの支援を重要課題と捉え、継続的な取り組みを行っていきます。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

地域社会とともに
各地域での社会貢献活動



アラブ首長国連邦で、子どもたちに手作りの防寒着を寄付

従業員が地域住民と共に110人分の防寒着を手作り

ブラザーインターナショナル(ガルフ)FZE(以下、BIC(GULF))は、2018年10月、アラブ首長国連邦で活動している非営利団体「Dar Al Ber Society」を通じ、難民キャンプや児童養護施設の子どもたちに手作りの防寒着を寄付しました。

BIC(GULF)は、ブラザー製品を活用した社会貢献活動を継続的に実施しており、特に近年は子どもへの支援に力を入れています。2018年は、難民キャンプや児童養護施設の子どもたちが少しでも快適に過ごせるよう、ブラザーのミシンで防寒着を作る活動「Sewing Hope」を実施しました。この活動では、社内だけでなく地域にもこの取り組みを広げたいという従業員の声により、ソーシャルメディアや裁縫同好会のネットワークを利用して社外からも参加者を募りました。その結果、BIC(GULF)の従業員30名のほかに、地域住民150名が集まりました。ドバイの商業施設で行われた防寒着作りでは、参加者がブラザーのミシンを使って縫製などを行い、110人分の上着とズボンを完成させました。完成した防寒着は、「Dar Al Ber Society」を通じて子どもたちに届けられました。

BIC(GULF)の代表者は「従業員からの提案で、今回初めてこの活動を実施しました。私も実際に縫製作業をしましたが、1着の服を作ることがどれだけ大変か実感しました。子どもたちに、手作りの服のぬくもりが伝わるよう願います」と話していました。


縫製作業


完成した防寒着と参加者

BIC(GULF)はこれからも、社会への貢献を常に意識し、継続的な取り組みを行っていきます。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

地域社会とともに
各地域での社会貢献活動

南アフリカ共和国で、地域住民の就労を支援

ブラザーのミシンを教材にした職業訓練講座を開講

ブラザーインターナショナル(南アフリカ)(Pty)Ltd.(以下、BI(南ア))は、地域住民の就労支援をしている非営利団体Avisaと協働で、2017年から、職業訓練講座を実施しています。

BI(南ア)の周辺地域では、住民の生活を経済的に安定させることが課題となっています。BI(南ア)は、ブラザーの製品を活用し住民の就労支援をしたいと考え、Avisaと協働でブラザーのミシンを教材にした職業訓練講座を開講しました。この講座は「Brother Avisa Training Center」と名付けられ、受講者は4カ月間、毎週BI(南ア)に通い、ミシンの修理やメンテナンス、縫製技術などについて学びます。この「Brother Avisa Training Center」を修了した受講者の多くは、実習を積み重ね、身につけた技術を生かして就職を実現しています。


ミシンの操作についての実習


受講者が実習で製作した衣類

BI(南ア)はこれからも、地域に対する貢献を常に意識し、継続的な取り組みを行っていきます。

ⓒ2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.